◆ 品川区 ◆

中小企業の景況

令和 2 年度第 2·四半期

(令和2年7~9月)

目 次



しながわ後継者塾 (令和2年9月8日開催)

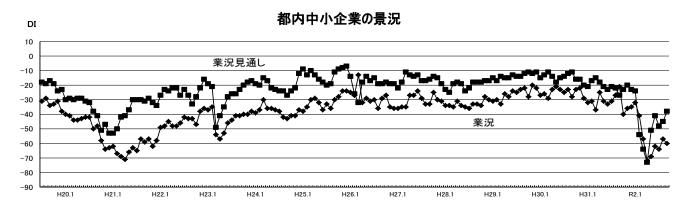
都内中小企業の景況(令和2年7~9月期)・・・・・・・・・	1
品川区内中小企業の景況(令和2年7~9月期)・・・・・・	2
品川区の今期の特徴点・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3
製 造 業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4
卸 売 業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	9
小 売 業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	13
サービス業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	18
建 設 業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	22
日銀短観・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	26
東京都と品川区の企業倒産動向・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	26
特別調査「新型コロナウイルス感染症による影響」・・・・	27
中小企業景況調査 比較表・転記表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	33

品川区地域振興部商業・ものづくり課 調査実施機関 ***東京商エリサーチ

都内中小企業の景況(令和2年7~9月期)

業 況:全体でやや改善、製造業では大幅に改善。

見通し:全業種で大きく改善の見通し。



業況 DI (季節調整済み、「良い」企業割合-「悪い」企業割合) は▲60 (前期は▲62) と、やや改善した。今後3ヶ月間の見通しでは、今期比22ポイント増の▲38と、極端に改善する見通し。

	前 期 (R2.6)	今 期 (R2.9)	増減	今後3ヶ月間 の見通し
製 造 業	▲ 66	▲ 59	7	▲ 37
卸売業	▲ 66	▲ 66	0	▲ 39
小 売 業	▲ 61	▲ 61	0	▲ 45
サービス業	▲ 56	▲ 54	2	▲ 32
全 体	▲ 62	1 60	2	▲ 38

令和2年9月の都内中小企業の業況DIは、前期から2ポイント増の▲60と、やや改善した。今後3ヶ月間の業況見通しDIでは、今期比22ポイント増の▲38と、極端に改善する見通しとなっている。

都内中小企業の業況DIを業種別にみると、製造業(▲59)は7ポイント増と大幅に改善し、サービス業(▲54)は2ポイント増とやや改善した。卸売業(▲66)と小売業(▲61)は変動がなかった。

なお、仕入価格DI(仕入単価が「上昇」とした企業割合ー「低下」とした企業割合)をみると、製造業(2)は5ポイント増とやや上昇した一方で、卸売業(Δ 4)は1ポイント増と前期並、小売業(Δ 14)は4ポイント減とやや下降した。

販売価格DI(販売単価が「上昇」とした企業割合一「低下」とした企業割合)をみると、サービス業(▲13)は変動なし、製造業(▲10)と卸売業(▲7)はそれぞれ1ポイント減と前期並となった。一方で、小売業(▲18)は7ポイント減と大幅に下降した。

今後3ヶ月間の業況見通しDIを業種別にみると、全業種で大きく改善が見込まれている。卸売業(▲39)は27ポイント増、製造業(▲37)は22ポイント増、サービス業(▲32)も22ポイント増といずれも極端に改善する見通し。小売業(▲45)は16ポイント増と大幅に改善する見込みとなっている。

[注]

○D. I (Diffusion Indexの略)

D. I (ディーアイ) は、増加(又は「上昇」「楽」など)したと答えた企業割合から、減少(又は「下降」「苦しい」など)したと答えた企業割合を差引いた数値のことで、不変部分を除いて増加したとする企業と減少したとする企業のどちらかの力が強いかを比べて時系列的に傾向をみようとするものです。

○(季節調整済) D. I

季節調整済とは、各期で季節的な変動を繰り返すD. Iを過去5年間まで遡り、季節的な変動を除去して加工したD. I値です。 修正値ともいいます。

○傾向値

傾向値は、季節変動の大きな業種(例えば小売業)ほど有効で、過去の推移を一層なめらかにして景気の方向をみる方法です。

品川区内中小企業の景況(令和2年7~9月期)

業 況:全体の景況感は前期並。製造業で大幅に悪化、卸売業、小売業は大幅に改善。 見通し:製造業、サービス業は今期並み、卸売業、小売業、建設業で改善の見込み。



平成 14 年 2 月に始まった戦後最長の好況の影響からか、品川区の業況 DI は平成 18 年 10 月頃までは緩やかながらも回復基調にあった。その後、サブプライム問題が表面化した平成 19 年 7 月頃より業況 DI は低下が続き、リーマンショック発生から約 1 年後にあたる平成 21 年 7 月~9 月期の業況 DI は▲74 と、最も悪化した。

今期(令和2年7~9月期)は、引き続き新型コロナウイルス感染症の影響を受け、業況 DI は▲71 と厳しい結果となった。

	ייטט			
	前々期	前期	今期	今後3ヶ月間
	(R2.1~3)	(R2.4~6)	(R2.7~9)	の見通し
製 造 業	▲49	▲ 65	▲ 78	▲ 78
卸 売 業	▲ 59	▲ 84	▲ 70	▲ 65
小 売 業	▲ 85	▲ 84	▲ 74	▲ 65
サービス業	▲ 64	▲ 67	▲ 68	▲ 67
建設業	▲ 32	▲ 65	▲ 63	▲49
全 体	▲ 54	▲ 72	▲ 71	▲ 64

品川区内中小企業の業況 DI

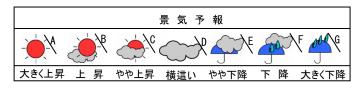
※小数点第1位を四捨五入した数値

≪最近の景況動向≫

今期の品川区内中小企業全体の業況は、前期並となった。来期(今後3ヶ月間の見通し)においては、 大幅に改善する見通しとなっている。業種別にみると、卸売業と小売業は大幅に改善、建設業ではやや 改善したものの、サービス業は前期並、製造業では大幅に悪化した。来期は製造業、サービス業は今期 並、卸売業、小売業、建設業で改善する見込みである。

経済産業省が取りまとめている鉱工業指数においては、9月(速報)は生産、出荷は上昇、在庫、在庫率は低下した。製造工業生産予測調査では、10月、11月ともに上昇を予測している。なお、総務省統計局が取りまとめている9月の消費者物価指数(2015年=100)は102.0(中分類総合指数)となっており、前月比(季節調整値)と同水準となった。

品川区の今期の特徴点





業況は前期並となった。売上額、収益はともに減少幅が極端に縮小した。販売価格は下降傾向がやや 弱まり、仕入価格は上昇傾向がかなり強まった。資金繰りは厳しさがかなり和らいだ。



業況は低調感がかなり強まった。売上額は減少幅がやや拡大し、収益は減少幅がやや縮小した。販売価格は前期並、原材料価格は上昇傾向がかなり強まった。在庫は過剰感がやや強まった。資金繰りは厳しさがかなり和らいだ。



業況はかなり改善した。売上額、収益はともに減少幅が極端に縮小した。販売価格は下降傾向がかなり弱まり、仕入価格は上昇傾向がかなり強まった。在庫は過剰感がかなり改善した。資金繰りは厳しさがかなり和らいだ。



業況はかなり改善した。売上額、収益はともに減少幅が極端に縮小した。販売価格は下降傾向がかなり弱まり、仕入価格は上昇傾向が極端に強まった。在庫は過剰感がかなり改善した。資金繰りは厳しさがかなり和らいだ。

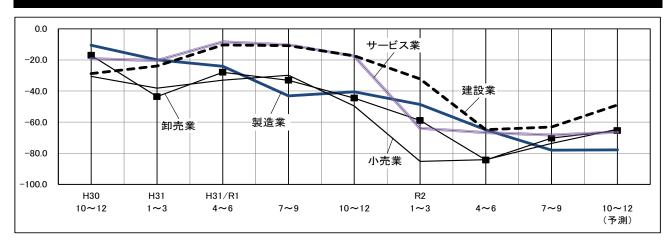


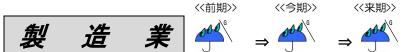
業況は前期並となった。売上額、収益はともに減少幅が極端に縮小した。料金価格は下降傾向がかなり弱まり、材料価格は上昇傾向がかなり弱まった。資金繰りは厳しさがかなり和らいだ。



業況はやや改善した。売上額、施工高、収益はいずれも減少幅がかなり縮小した。請負価格は下降傾向がやや弱まり、材料価格は上昇傾向がやや弱まった。在庫は過剰感がやや強まった。資金繰りは厳しさがかなり和らいだ。

各業種別業況の動き(実績)と来期の予測





()は、前期→今期

売上・収益の動向と業況判断

業況 ($\triangle 65 \rightarrow \triangle 78$) は低調感がかなり強まった。売上額 ($\triangle 59 \rightarrow \triangle 63$) は減少幅がやや拡大し、収益 ($\triangle 59 \rightarrow \triangle 56$) は減少幅がやや縮小した。

なお、全都と比較した当区の業況は19ポイント下回っている。

価格•在庫動向

販売価格 ($\triangle 17 \rightarrow \triangle 18$) は前期並、原材料価格 ($5 \rightarrow 14$) は上昇傾向がかなり強まった。在庫 ($6 \rightarrow 11$) は過剰感がやや強まった。

資金繰り・借入金動向

資金繰り(△45→△33)は厳しさがかなり和らぎ、借入難易度(11→21)は容易さがかなり増した。今期借入れをした企業は46%で前期の42%から4ポイント増加した。

経営上の問題点・重点経営施策

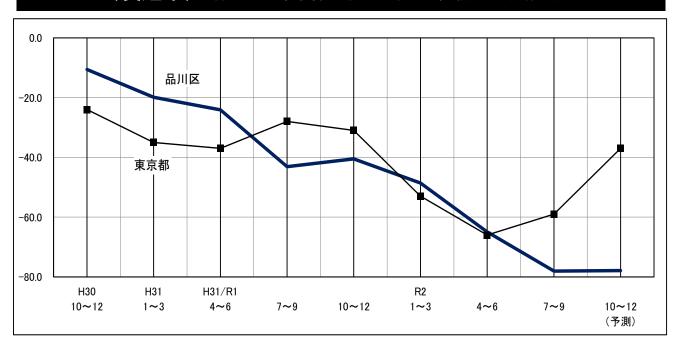
経営上の問題点は、1位は「売上の停滞・減少」が83%、2位は「利幅の縮小」が21%、3位は「工場・機械の狭小・老朽化」が18%となった。前期と比べ、上位3項目に変動はなかった。

重点経営施策は、1位は「販路を広げる」が56%、2位は「経費を節減する」が48%、3位は「新製品・技術を開発する」が27%となり、重点経営施策でも上位3項目に変動はなかった。

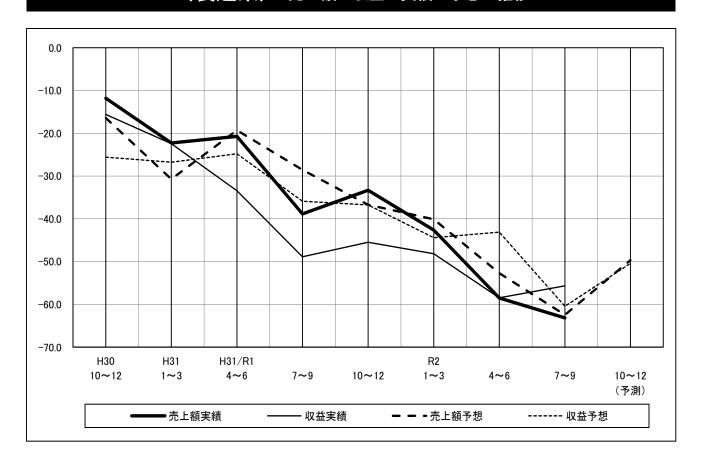
来期の見通し

業況(△78→△78)は今期並となる見込み。売上額、収益はともに減少幅がかなり縮小すると予想されている。

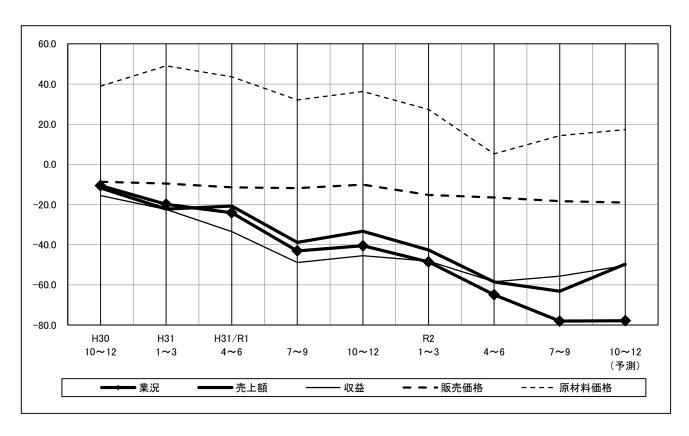
〈製造業〉 品川区と東京都の業況の動き(実績)と来期の予測



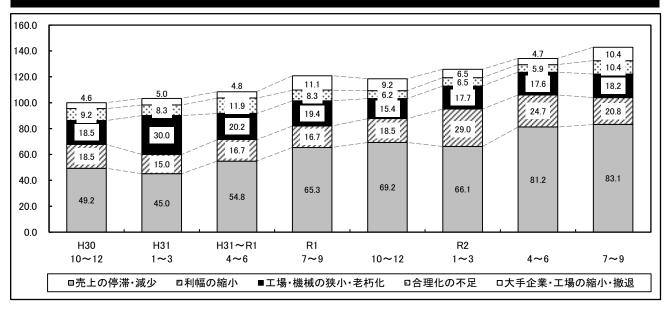
〈製造業〉 売上額・収益の実績と予想の推移



〈製造業〉業況と売上額、収益、販売価格、原材料価格の動き(実績)と来期の予測

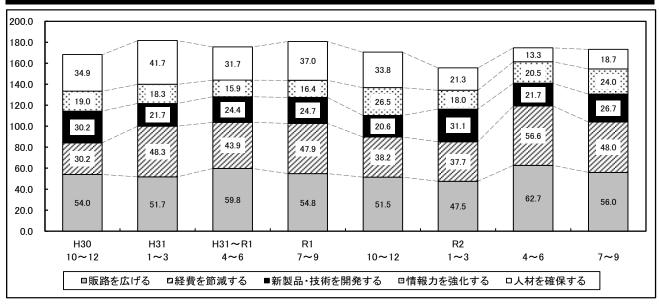


〈製造業〉 経営上の問題点(%)



	R1.10~12月期		R2.1~3月期		R2.4~6月期		R2.7~9月期	
第1位	売上の停滞・減少	69.2 %	売上の停滞・減少	66.1 %	売上の停滞・減少	81.2 %	売上の停滞・減少	83.1 %
第2位	人件費の増加	21.5 %	利幅の縮小	29.0 %	利幅の縮小	24.7 %	利幅の縮小	20.8 %
第3位	同業者間の競争の激化	18.5 %	原材料高	21.0 %	工場・機械の狭小・老朽化	17.6 %	工場・機械の狭小・老朽化	18.2 %
	利幅の縮小	18.5 %						
第4位	人手不足	16.9 %	工場・機械の狭小・老朽化	17.7 %	人件費の増加	11.8 %	合理化の不足	10.4 %
							大手企業・工場の縮小・撤退	10.4 %
第5位	原材料高	15.4 %	人手不足	16.1 %	人手不足	10.6 %	原材料高	9.1 %
							人件費以外の経費増加	9.1 %

〈製造業〉 重点経営施策(%)



	R1.10~12月期		R2.1~3月期		R2.4~6月期		R2.7~9月期	
第1位	販路を広げる	51.5 %	販路を広げる	47.5 %	販路を広げる	62.7 %	販路を広げる	56.0 %
第2位	経費を節減する	38.2 %	経費を節減する	37.7 %	経費を節減する	56.6 %	経費を節減する	48.0 %
第3位	人材を確保する	33.8 %	新製品・技術を開発する	31.1 %	新製品・技術を開発する	21.7 %	新製品・技術を開発する	26.7 %
第4位	情報力を強化する	26.5 %	人材を確保する	21.3 %	情報力を強化する	20.5 %	情報力を強化する	24.0 %
第5位	新製品・技術を開発する	20.6 %	情報力を強化する	18.0 %	教育訓練を強化する	16.9 %	人材を確保する	18.7 %

製造業 業種別動向

(1) 電気機械器具

業況(\triangle 56 \rightarrow \triangle 27)は極端に改善した。売上額(\triangle 54 \rightarrow \triangle 18)、収益(\triangle 56 \rightarrow \triangle 5)はともに減少幅が極端に縮小した。販売価格(5 \rightarrow 10)は上昇傾向がやや強まり、原材料価格(13 \rightarrow 22)も上昇傾向がかなり強まった。資金繰り(\triangle 29 \rightarrow 13)は容易となった。

来期の業況は低調感が極端に強まると予想されている。

(2)一般機械器具・金型

業況(Δ 55→ Δ 90)は低調感が極端に強まった。売上額(Δ 50→ Δ 72)は減少幅が極端に拡大し、収益(Δ 55→ Δ 57)も減少幅がやや拡大した。販売価格(Δ 24→ Δ 24)は前期並となり、原材料価格(4→20)は上昇傾向がかなり強まった。資金繰り(Δ 44→ Δ 40)は厳しさがやや和らいだ。

来期の業況は今期並となると予想されている。

(3) 出版 • 印刷 • 同関連産業

業況($\triangle 90 \rightarrow \triangle 100$)は低調感がかなり強まった。売上額($\triangle 100 \rightarrow \triangle 56$)、収益($\triangle 100 \rightarrow \triangle 59$)はともに減少幅が極端に縮小した。販売価格($\triangle 20 \rightarrow \triangle 18$)は下降傾向がやや弱まり、原材料価格($O \rightarrow \triangle 10$)は下降に転じた。資金繰り($\triangle 74 \rightarrow \triangle 48$)は厳しさが極端に和らいだ。来期の業況は今期並になると予想されている。

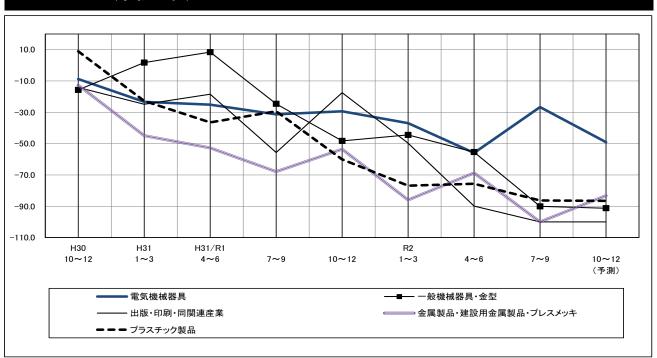
(4) 金属製品・建設用金属製品・プレスメッキ

業況 ($\triangle 69 \rightarrow \triangle 100$) は低調感が極端に強まった。売上額 ($\triangle 65 \rightarrow \triangle 93$)、収益 ($\triangle 60 \rightarrow \triangle 93$) は減少幅が極端に拡大した。販売価格 ($\triangle 34 \rightarrow \triangle 44$) は下降傾向がかなり強まり、原材料価格 ($4 \rightarrow 9$) は上昇傾向がやや強まった。資金繰り ($\triangle 47 \rightarrow \triangle 73$) は厳しさが極端に増した。 来期の業況はかなり改善すると予想されている。

(5) プラスチック製品

業況(\triangle 76→ \triangle 86)は低調感がかなり強まった。売上額(\triangle 46→ \triangle 88)、収益(\triangle 40→ \triangle 79)はともに減少幅が極端に拡大した。販売価格(\triangle 18→ \triangle 23)は下降傾向がやや強まり、原材料価格(3→19)は上昇傾向がかなり強まった。資金繰り(\triangle 43→ \triangle 28)は厳しさがかなり和らいだ。来期の業況は今期並になると予想されている。

〈製造業〉業種中分類別の業況の動き(実績)と来期の予測



製造業 業種別コメント

<電気機械器具>

- 1. 売上減、収益減、労務費増、材料費増。要因は需要減(コロナ禍)と人件費、材料単価上昇。
- 2. コロナウイルス感染症の影響が6月以降徐々に出て売上・収益の減少。
- 3. 売上の減少。
- 4. 受注が増え、増収・増益が続いている。
- 5. コロナ禍の影響で注文が減少。これからの受注 の見通しがつかない。
- 6. コロナウイルスの影響で受注が少なくなっている。人手不足も問題である。

<一般機械器具・金型>

- 1. リモートワークでは販路拡大は難しい。特殊性 の強い製品の製造販売は、そのPRから販売ま でいわゆる「お付き合い」が必要。世間との乖 離は著しく後々の不安が増す。
- 2. 大手企業の生産縮小による受注減。 開発の停滞。
- 3. 現状での先行き見通しは立てづらい。
- 4. 新型コロナウイルスの影響で近年伸びてきていたイベントレンタル部門がほぼ O になり、業績が落ちた上、来年に向けての計画もコロナウイルスの動向次第となっており見通しが立たない。
- 5. 営業力不足。
- 6. コロナウイルスの影響で材料の入荷にばらつきがあり、製造や売上がマイナスになる。
- 7. 車の販売増の期待50%~90%へ。
- 8. 夏ごろの受注減がいったん底ではないかと考えている。9 月以降、先方から伝えられた生産予定の限りではわずかながら回復していく見通しである。
- 9. 単価が安い為、利益が出ない。
- 10. 今回のコロナウイルスでは、1~3 月に大学や研究所と来期の実験器具や新規の装置等について打ち合わせをしていたが、3~6 月迄全てストップ。打ち合わせの話も有りませんでした。7月になって10~20%の仕事量で年内もこのままの状態と思っている。

- 11. 業界そのものの縮小により仕事の量と単価の減少。
- 12. 現状大きな影響は出ていない。理由は取り扱い の商品は消耗品であり、タイムラグが有り、通 常の市況感から 1~2 年位ずれがある。
- 13. 社会保険料の負担増加。
- 14. 客先が食品会社、外食産業がほとんどなので、 機械の需要、売上が停滞している。

<出版・印刷・同関連産業>

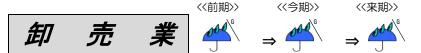
- 1. コロナウイルスによる経済活動自粛←STAY HOME により仕事の極端な減少が続いている。 給付金も申請しているがとてもカバーできない。
- 2. コロナウイルスの影響がひどくイベントものが まだ止まっている状態で、印刷できない事が多 い。
- 3. コロナウイルスの影響が長くひびいて売上がの びません。
- 4. コロナウイルスのためイベントが中止となり印刷物なし。しかし、コロナのため倒産、廃業する会社が有り、そこへお願いしていた会社から受注が有った。9月に入り少々仕事も増えてきた。

<金属製品・建設用金属製品・プレスメッキ>

- 1. 受注減で経営悪化。
- 2. 人手不足だったがコロナウイルスで受注減となり、出費と仕事量のバランスが取れている。 人手があれば出来る仕事も無理はせず、お断り している。
- 3. 重要が減り減収減益が続いている。
- 4. 売上の減少。
- 5. 市場の減少傾向による親企業からの受注減が続きそう。

<プラスチック製品>

- 1. 減収減益。
- 2. 売上激減している。



()は、前期→今期

売上・収益の動向と業況判断

業況 ($\triangle 84 \rightarrow \triangle 70$) はかなり改善した。売上額 ($\triangle 80 \rightarrow \triangle 55$)、収益 ($\triangle 78 \rightarrow \triangle 57$) はともに減 少幅が極端に縮小した。

なお、全都と比較した当区の業況は4ポイント下回っている。

価格•在庫動向

販売価格 ($\triangle 25 \rightarrow \triangle 19$) は下降傾向がかなり弱まり、仕入価格 ($6 \rightarrow 18$) は上昇傾向がかなり強まった。在庫 ($34 \rightarrow 16$) は過剰感がかなり改善した。

資金繰り・借入金動向

資金繰り ($\triangle 29 \rightarrow \triangle 12$) は厳しさがかなり和らぎ、借入難易度 ($4 \rightarrow 3$) は前期並となった。今期借入れをした企業は 46%で前期の 40%から 6 ポイント増加した。

経営上の問題点・重点経営施策

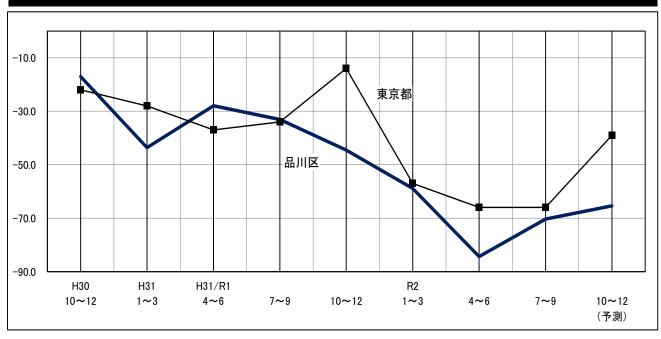
経営上の問題点は、1位は「売上の停滞・減少」が67%、2位は「利幅の縮小」が31%、3位は「取引先の減少」が27%となった。前期同率3位だった「同業者間の競争の激化」は今期4位と順位を下げたが、その他の上位3項目に変動はなかった。

重点経営施策は、1位は「販路を広げる」が59%、2位は「経費を節減する」が49%、3位は「情報力を強化する」が36%となった。前期と比べ、上位3項目に変動はなかった。

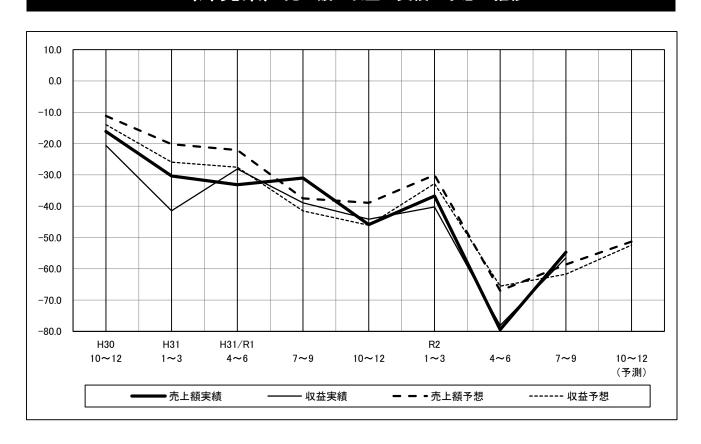
来期の見通し

業況(△70→△65)はやや改善する見込み。売上額、収益はともに減少幅がやや縮小すると予想されている。

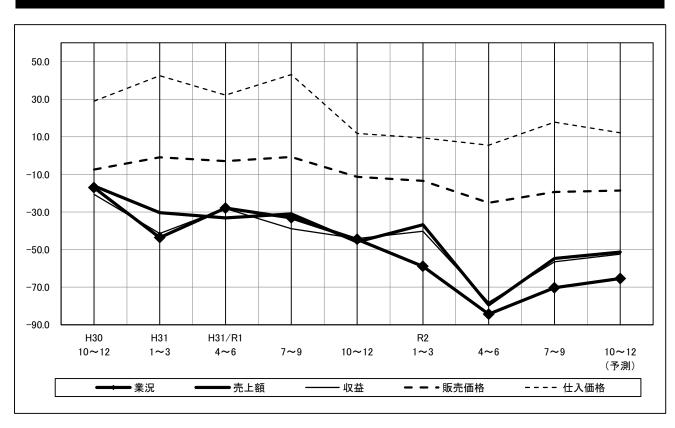
〈卸売業〉 品川区と東京都の業況の動き(実績)と来期の予測



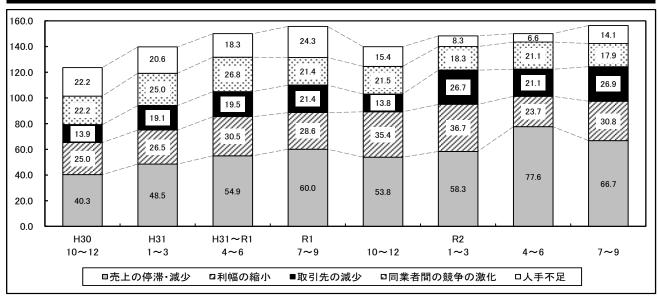
〈卸売業〉売上額・収益の実績と予想の推移



〈卸売業〉業況と売上額、収益、販売価格、仕入価格の動き(実績)と来期の予測

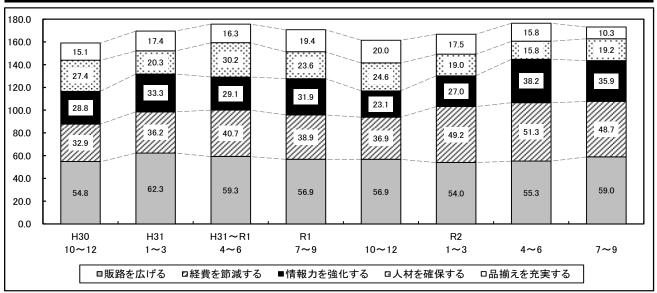


〈卸売業〉経営上の問題点(%)



	R1.10~12月期		R2.1~3月期		R2.4~6月期			R2.7~9月期			
第1位	売上の停滞・減少	53.8 %	売上の停滞・減少	58.3	%	売上の停滞・減少	77.6	%	売上の停滞・減少	66.7 9	6
第2位	利幅の縮小	35.4 %	利幅の縮小	36.7	%	利幅の縮小	23.7	%	利幅の縮小	30.8 9	6
第3位	同業者間の競争の激化	21.5 %	取引先の減少	26.7	%	同業者間の競争の激化	21.1	%	取引先の減少	26.9 9	6
						取引先の減少	21.1	%			
第4位	人手不足	15.4 %	同業者間の競争の激化	18.3	%	人件費の増加	10.5	%	同業者間の競争の激化	17.9 9	6
第5位	人件費の増加	13.8 %	為替レートの変動	13.3	%	流通経路の変化による競争の激化	9.2	%	人手不足	14.1 9	6
	取引先の減少	13.8 %									

〈卸売業〉重点経営施策(%)

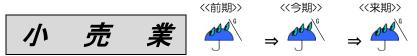


	R1.10~12月期		R2.1~3月期		R2.4~6月期			R2.7~9月期		
第1位	販路を広げる	56.9 %	販路を広げる	54.0	%	販路を広げる	55.3	%	販路を広げる	59.0 %
第2位	経費を節減する	36.9 %	経費を節減する	49.2	%	経費を節減する	51.3	%	経費を節減する	48.7 %
第3位	人材を確保する	24.6 %	情報力を強化する	27.0	%	情報力を強化する	38.2	%	情報力を強化する	35.9 %
第4位	情報力を強化する	23.1 %	人材を確保する	19.0	%	品揃えを充実する	15.8	%	人材を確保する	19.2 %
						人材を確保する	15.8	%		
第5位	品揃えを充実する	20.0 %	品揃えを充実する	17.5	%	新しい事業を始める	10.5	%	品揃えを充実する	10.3 %
									教育訓練を強化する	10.3 %

卸売業 業種別コメント

- 1. 弊社は食品を販売している。 目下の $+\alpha$ はコロナウイ 21. 新型コロナウイルス感染症の発生により、特殊鋼金 ルスの内食需要増が寄与している面が多い。一時的需 要増の可能性もあるので慎重に対応していきたい。
- 2. 今期主要取引先からの受注が減少した。
- 3. イタリアからの仕入れがメインなので仕入が思 うようにできない(コロナウイルスの為)。
- 4. 大手小売店が中国、ベトナムより直接輸入しているの で大ヒット商品を作らなければ当社の未来は無い。ブ ランディングも必要となる。今まで通りでは、じり貧。
- 5. コロナウイルスの影響で売上激減。
- 6. 出生人口の減少により減収が続いている。
- 7. コロナウイルスに依り、商品の動きが一時ストッ プしてしまったが、その間新製品の開発に時間を 有効利用し、来期に向け販売拡充を計画し成果が 出始めている。
- 8. 需要が減り、減益が続いている。
- 9. テレワーク導入がむずかしい。販路(レストラ ン・居酒屋など)が狭まり、売上減が厳しい。
- 10. 海外製品の増加により、売上は減少傾向している。
- 11. コロナウイルスの影響で生活パターンが変わった。 当然、個人消費者のお金の使い方や、収入減少が売 上の伸びを止めている。今後、再度給付金や税金の 減額等を考えてほしい。いつまで営業していける 31. コロナウイルスの影響で営業不振の状態が続い か、不安をもちながらの生活。資本力のない小さな 店は個人の持ち出しで生活や営業を支えているの が現状。早く安定した生活になってほしい。
- 12. 感染拡大防止のため在宅勤務が推奨されたこと。 夜の街が危険、ソーシャルディスタンス等の影響 により来客数が大幅に減少している。
- 13. 飲食店の不況→酒蔵の売上減→生産者(酒蔵)の 製造減。
- 14. コロナウイルスの影響で観光や人の移動が少なく なり、ギフトが動かない。減収・減益がまだ続く。
- 15. 需要が増え、増収・増益が続いている。
- 16. 飲食店に食材を納入しているが客足がない。一日 も早いコロナウイルスの終息を望む。
- 17. 大口取引相手による、取引先の選別があり、価格 的にも対応が出来なくなりつつある(競争の激 次第に縮小傾向にある。
- 18. 現状は前年と変わらず。不動産など法人需要が減 少。個人需要が支えている。来年以降、全体景気 により影響があると思われる。
- 19. 主要取引先からの受注減少。業界(食品、酒、イ ベント)すべてが先行き不透明である。
- 20. 他業種への移行を考えている。

- 型業界も影響を受け、弊社も創業以来というよう な、売上の激減に直面している。企業努力で対応出 来る限界は超えていると思われるので、今後の公的 支援の拡充に期待している。取引先の個人企業の廃 業も続いているので先が見通せないでいる。
- 22. 町工場の減少がもろにひびいている。
- 23. 得意先の設備投資が減少しているので、一部製品 の売上が減少。
- 24. 顧客(大手企業)の発注形態変更により、別ルー トへの発注切換が多く得意先が減少している。
- 25. 今後の新型コロナウイルスの影響による取引先 の設備投資の減少からの売上の減少。
- 26. 業界全体の需要が下落している。
- 27. コロナウイルスにより全般的には悪化傾向なが ら、コロナ特需もあり前期比を上回る状況だが来 期は不透明である。
- 28. 新型コロナウイルス感染拡大による影響が多大。
- 29. コロナ禍においても海運が動いているので、何と か受注を確保できている状況。
- 30. 売上減少気味(前年比)コロナ不況によるものと 思われる。
- ている。全く先が見えない。
- 32. 主要取引先の業績落ち込みによる売上の減少が 続いている。
- 33. 新型コロナウイルスの中、売上が少し伸長している。
- 34. コロナウイルスも影響もあり廃業してしまう得 意先もありこの先不安。消費税減税など幅広い 方々に恩恵があるようにしてもらいたい。
- 35. 現在の売上の展望は極めて厳しい状態にある。例 えば当社の各取引先との1回の取引金額が前年に 比べて大きく下がっており、この事は購買者数が 大きく感じている事を示している。いずれにして も売上を回復させるのは、よほどの世の中の流れ に乗ったビジネスをやっていくか?逆転できる ほどの対策が考えられない状態では回復は難し く、時間がかかるものと考える。
- 化)。最終需要の減少によって大口顧客先自体が 36. 決まった大口取引先との受注は安定しているが、 経済の悪化は酷く、全体の取引先からの受注減が 継続しており、自主廃業や倒産した先も出てい る。取引先減少に危惧を感じている。
 - 37. 売上・利益が減少している。
 - 38. 業界の構造変化が進んでおり、集約化の方向で零 細企業は苦しい状況続く。
 - 39. 販売先が新型コロナウイルスの影響を受けてお り、減収、減益が続いている。



()は、前期→今期

売上・収益の動向と業況判断

業況 ($\triangle 84 \rightarrow \triangle 74$) はかなり改善した。売上額 ($\triangle 78 \rightarrow \triangle 11$)、収益 ($\triangle 80 \rightarrow \triangle 25$) はともに減少幅が極端に縮小した。

なお、全都と比較した当区の業況は13ポイント下回っている。

価格•在庫動向

販売価格 (\triangle 17 \rightarrow \triangle 4) は下降傾向がかなり弱まり、仕入価格 ($4\rightarrow$ 24) は上昇傾向が極端に強まった。在庫 ($17\rightarrow$ 4) は過剰感がかなり改善した。

資金繰り・借入金動向

資金繰り(△47→△29)は厳しさがかなり和らぎ、借入難易度(15→10)は容易さがやや縮小した。今期借入れをした企業は64%で前期の58%から6ポイント増加した。

経営上の問題点・重点経営施策

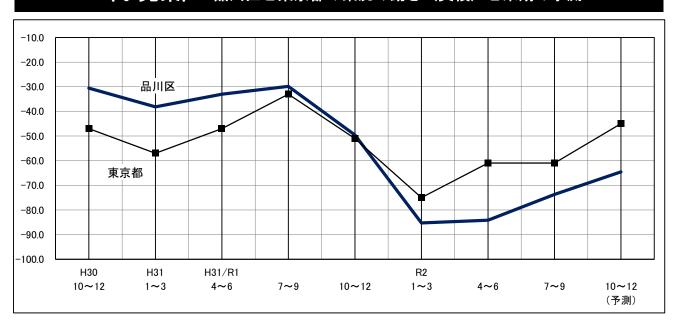
経営上の問題点は、1位は「売上の停滞・減少」が88%、2位は「利幅の縮小」が32%、3位は「商店街の集客力の低下」および「商圏人口の減少」がともに18%となった。前期圏外だった「商店街の集客力の低下」および「商圏人口の減少」が、今期3位と順位を上げた。

重点経営施策は、1位は「経費を節減する」が67%、2位は「品揃えを改善する」が29%、3位は「売れ筋商品を取扱う」が25%となった。前期3位だった「宣伝・広報を強化する」は今期4位となり、前期4位だった「売れ筋商品を取扱う」が、今期3位となり順位を上げた。

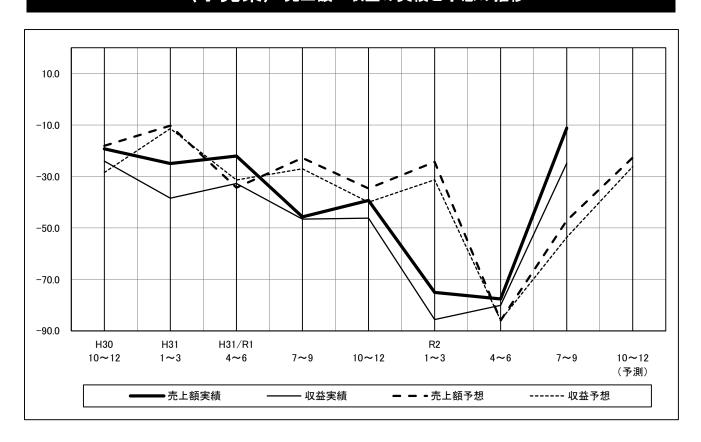
来期の見通し

業況(△74→△65)はかなり改善する見込み。売上額は減少幅がかなり拡大し、収益は今期並となると予想されている。

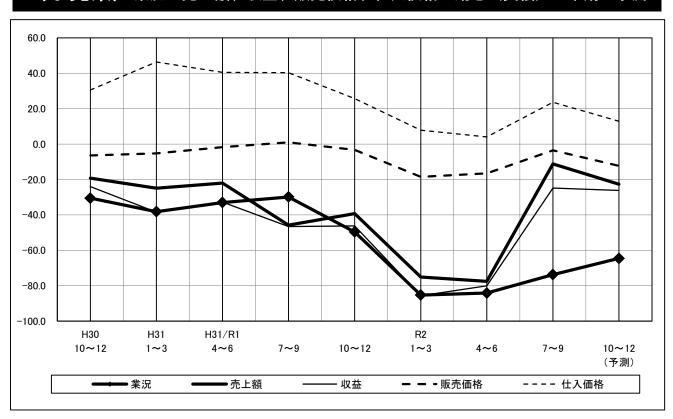
〈小売業〉 品川区と東京都の業況の動き(実績)と来期の予測



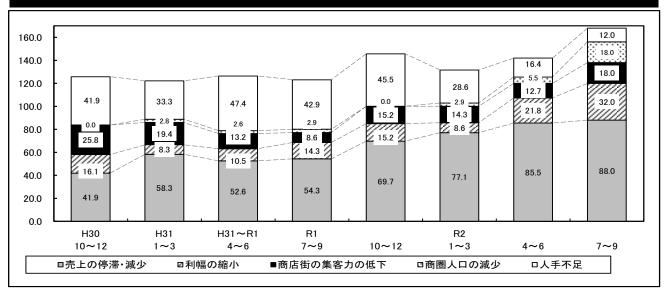
〈小売業〉売上額・収益の実績と予想の推移



〈小売業〉 業況と売上額、収益、販売価格、仕入価格の動き(実績)と来期の予測

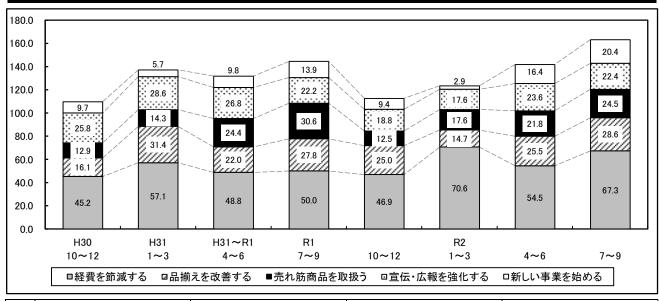


〈小売業〉経営上の問題点(%)



	R1.10~12月期		R2.1~3月期		R2.4~6月期	R2.4~6月期		
第1位	売上の停滞・減少	69.7 %	売上の停滞・減少	77.1 %	売上の停滞・減少	85.5 %	売上の停滞・減少	88.0 %
第2位	人手不足	45.5 %	その他	34.3 %	利幅の縮小	21.8 %	利幅の縮小	32.0 %
第3位	人件費の増加	27.3 %	人手不足	28.6 %	その他	18.2 %	商店街の集客力の低下	18.0 %
							商圏人口の減少	18.0 %
第4位	天候の不順	21.2 %	人件費の増加	22.9 %	人手不足	16.4 %	人手不足	12.0 %
							人件費の増加	12.0 %
							同業者間の競争の激化	12.0 %
第5位	同業者間の競争の激化	18.2 %	天候の不順	17.1 %	天候の不順	14.5 %	天候の不順	10.0 %
							取引先の減少	10.0 %

〈小売業〉重点経営施策(%)



	R1.10~12月期		R2.1~3月期		R2.4~6月期		R2.7~9月期	
第1位	経費を節減する	46.9 %	経費を節減する	70.6 %	経費を節減する	54.5 %	経費を節減する	67.3 %
第2位	人材を確保する	34.4 %	人材を確保する	20.6 %	品揃えを改善する	25.5 %	品揃えを改善する	28.6 %
第3位	品揃えを改善する	25.0 %	宣伝・広報を強化する	17.6 %	宣伝・広報を強化する	23.6 %	売れ筋商品を取扱う	24.5 %
			売れ筋商品を取扱う	17.6 %				
第4位	仕入先を開拓・選別する	21.9 %	品揃えを改善する	14.7 %	売れ筋商品を取扱う	21.8 %	宣伝・広報を強化する	22.4 %
	教育訓練を強化する	21.9 %						
第5位	宣伝・広報を強化する	18.8 %	店舗・設備を改装する	11.8 %	新しい事業を始める	16.4 %	新しい事業を始める	20.4 %
			仕入先を開拓・選別する	11.8 %				
			特になし	11.8 %		,		

小売業 業種別動向

(1)飲食料品

業況 ($\triangle 43 \rightarrow \triangle 27$) はかなり改善した。売上額 ($\triangle 29 \rightarrow 1$) は増加に転じ、収益 ($\triangle 33 \rightarrow \triangle 14$) は減少幅がかなり縮小した。販売価格 ($\triangle 3 \rightarrow 17$) は上昇に転じ、仕入価格 ($15 \rightarrow 22$) は上昇傾向がかなり強まった。資金繰り ($O \rightarrow \triangle 17$) は厳しい状況に転じた。

来期の業況はかなり改善すると予想されている。

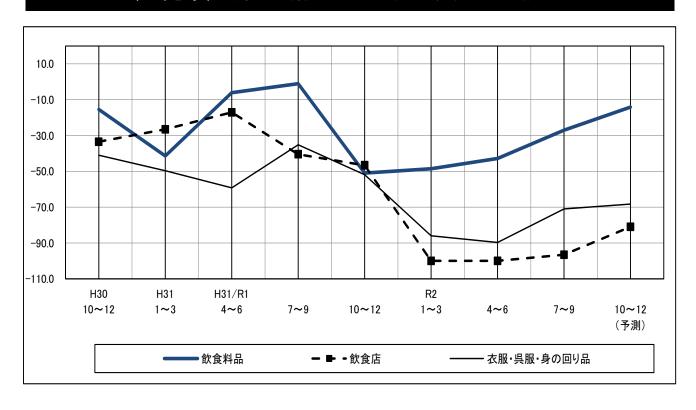
(2) 飲食店

業況(\triangle 100→ \triangle 97)はやや改善した。売上額(\triangle 100→ \triangle 3)、収益(\triangle 100→ \triangle 19)はともに減少幅が極端に縮小した。販売価格(\triangle 29→ \triangle 6)は下降傾向が極端に弱まり、仕入価格(3→32)は上昇傾向が極端に強まった。資金繰り(\triangle 73→ \triangle 32)は厳しさが極端に和らいだ。来期の業況はかなり改善すると予想されている。

(3) 衣服・呉服・身の回り品

業況($\triangle 90 \rightarrow \triangle 71$)はかなり改善した。売上額($\triangle 76 \rightarrow \triangle 31$)、収益($\triangle 83 \rightarrow \triangle 40$)はともに減少幅が極端に縮小した。販売価格($\triangle 8 \rightarrow \triangle 12$)は下降傾向がやや強まり、仕入価格($O \rightarrow 14$)は上昇傾向がかなり強まった。資金繰り($\triangle 44 \rightarrow \triangle 32$)は厳しさがかなり和らいだ。来期の業況はやや改善すると予想されている。

〈小売業〉業種中分類別の業況の動き(実績)と来期の予測



小売業 業種別コメント

く飲食料品>

- 1. コロナ禍で当初は地域の方々が近隣の店舗ということでお客様が増え、売上も順調に伸びたが、7月くらいから昨年並の客数・売上になってきた。また、大型の特売も展開が大きく、お客様が心理的にもそちらの方へ流れていき、厳しい情況になってきた。また、畜肉の相場も昨年より高騰し利益を圧迫し運営も厳しい。
- 2. コロナウイルスの影響で取引先飲食店の廃業が増加している。今後更に加速する可能性がある。店頭販売、オンラインショップは好調なので、当面は重点的に力を入れる。
- 3. 売上の減少が大きい。経費削減に努めている。

く飲食店>

- 1. 商店街の集客が特に土曜日、日曜日に大幅に 減少した。
- 2. コロナウイルス、テレワーク、在宅ワークに より人出が少なく、売上が減少している。
- 3. コロナウイルスの影響があり、売上減少がある。
- 4. 来店者の減少、来店者の回復がいつ頃になるか?
- 5. コロナウイルスの影響でお客様激減。日頃サ ラリーマンが多いお店のため、ほとんど団体 さん、グループのお客様は見えない。生物が 売りなので、仕入が難しい。
- 6. コロナウイルスの影響により営業時間、お客様の来店時間、頻度に変化があり、対応に苦慮している。
- 7. 10 月から Go To Eat が開始されるが、増収 は見込めないと予想される。まだまだ新型コロナウイルスの影響が続き、来期も厳しい営業となりそうである。
- 8. 令和2年3月~6月まで、コロナウイルスの ための休業や時間短縮で売上が減少した。今 年は回復しないと思う。
- 9. コロナウイルスの影響により来店者が減り、 減収減益が続いている。材料費が値上がりし ている。

- 10. コロナウイルスの影響により都心部で働く人が減少。売上も減少。
- 11. 消費税を下げてほしい。
- 12. コロナ禍の状況の中での時間短縮営業や休業等により売上が大幅減少している。6 月~7月にかけ少しずつ回復の期待をしていたが、再度の時間短縮営業要請、更なる売上大幅減少。回復の見込みがたたない。年末に期待しているがわからない。従業員数も減ってしまった。
- 13. 都内の飲食店が従来の運営スタイルでは赤字幅も大きく維持が難しい。
- 14. 来店人数の減少。大人数の予約の減少。

<衣服・呉服・身の回り品>

- コロナウイルスの影響で近所の店も閉店が増えた。当店は衣類を販売しているが日常生活の中で衣類はできるだけ必要最低限しか買わないのだろう。何故なら私もそうだからです。
- 2. 顧客対象の年配者がコロナウイルスで外出しない、できない為、買い物にも意欲なく、物理的・精神的両面の落ち込みが要因。
- 3. コロナウイルスによる非常事態宣言で、客足の抑制による売上不振や、コロナウイルスによる接触不安での買い控えが全面に出て、全く商売が不振を極めた。
- 4. コロナウイルスの減少による消費マインドの 改変。コロナウイルスの陽性者検査をどんど ん実施して経済を廻しながら、消費マインド を変化させて安心して外に出られる社会の体 制を作る。
- 5. コロナウイルス後の反動が現状を支えている。
- 6. コロナウイルス次第。
- 7. コロナウイルスの影響でハレの日が中止となり、卒業式、謝恩会、入学式、結婚式等々で 呉服関係は着る機会がなくなり、早くコロナ が収束してくれれば・・・。



()は、前期→今期

売上・収益の動向と業況判断

業況 ($\triangle 67 \rightarrow \triangle 68$) は前期並となった。売上額 ($\triangle 64 \rightarrow \triangle 34$)、収益 ($\triangle 64 \rightarrow \triangle 43$) はともに減少幅が極端に縮小した。

なお、全都と比較した当区の業況は14ポイント下回っている。

価格•在庫動向

料金価格 ($\triangle 21 \rightarrow \triangle 15$) は下降傾向がかなり弱まり、材料価格 ($11 \rightarrow 3$) は上昇傾向がかなり弱まった。

資金繰り・借入金動向

資金繰り ($\triangle 47 \rightarrow \triangle 34$) は厳しさがかなり和らぎ、借入難易度 ($1 \rightarrow \triangle 10$) は厳しい状況に転じた。 今期借入れをした企業は 32%で前期の 41%から 9 ポイント減少した。

経営上の問題点・重点経営施策

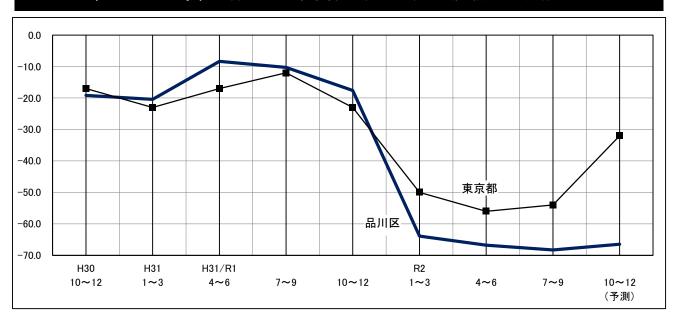
経営上の問題点は、1位は「売上の停滞・減少」が67%、2位は「人手不足」が31%、3位は「利幅の縮小」および「人件費の増加」が、ともに20%となった。前期と比べ、上位4項目に変動はなかった。

重点経営施策は、1位は「経費を節減する」が56%、2位は「販路を広げる」が44%、3位は「人材を確保する」が32%となり、重点経営施策でも上位3項目に変動はなかった。

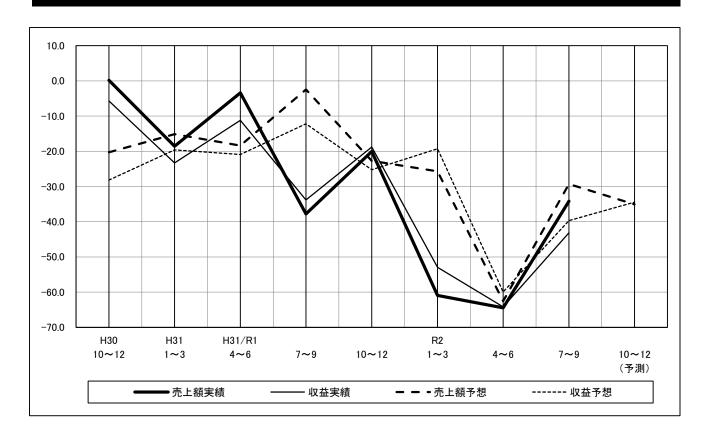
来期の見通し

業況(△68→△67)は今期並となる見込み。売上額も今期並となり、収益は減少幅がかなり縮小すると予想されている。

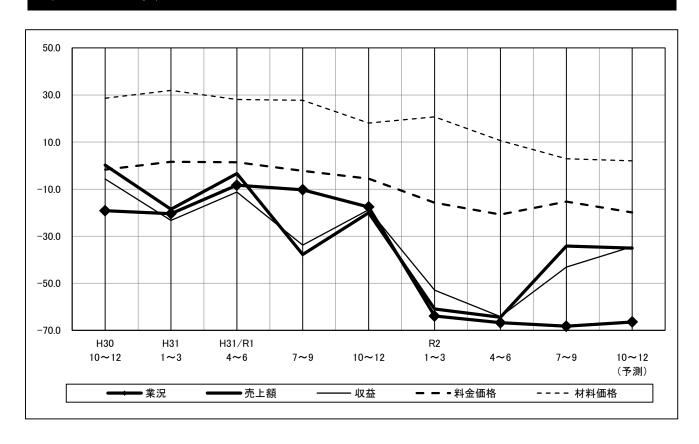
〈サービス業〉 品川区と東京都の業況の動き(実績)と来期の予測



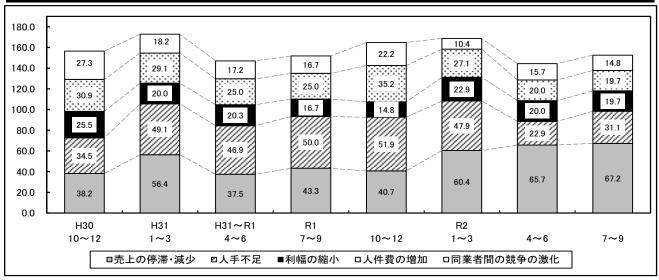
〈サービス業〉 売上額・収益の実績と予想の推移



〈サービス業〉 業況と売上額、収益、料金価格、材料価格の動き(実績)と来期の予測

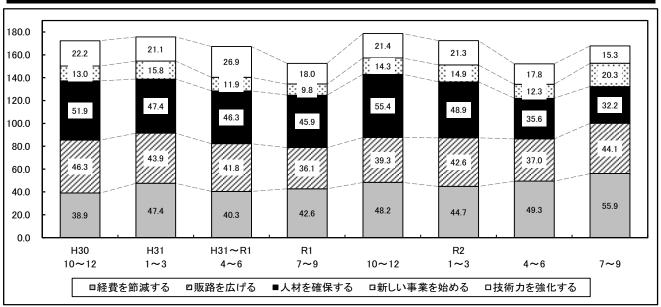


〈サービス業〉経営上の問題点(%)



	R1.10~12月期		R2.1~3月期		R2.4~6月期		R2.7~9月期	
第1位	人手不足	51.9 %	売上の停滞・減少	60.4 %	売上の停滞・減少	65.7 %	売上の停滞・減少	67.2 %
第2位	売上の停滞・減少	40.7 %	人手不足	47.9 %	人手不足	22.9 %	人手不足	31.1 %
第3位	人件費の増加	35.2 %	人件費の増加	27.1 %	利幅の縮小	20.0 %	利幅の縮小	19.7 %
					人件費の増加	20.0 %	人件費の増加	19.7 %
第4位	同業者間の競争の激化	22.2 %	利幅の縮小	22.9 %	同業者間の競争の激化	15.7 %	同業者間の競争の激化	14.8 %
第5位	利幅の縮小	14.8 %	人件費以外の経費の増加	10.4 %	その他	11.4 %	取引先の減少	13.1 %
			技術力の不足	10.4 %				
			取引先の減少	10.4 %				
			同業者間の競争の激化	10.4 %				

〈サービス業〉重点経営施策(%)

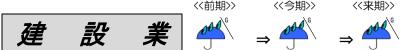


	R1.10~12月期		R2.1~3月期		R2.4~6月期		R2.7~9月期	
第1位	人材を確保する	55.4 %	人材を確保する	48.9 %	経費を節減する	49.3 %	経費を節減する	55.9 %
第2位	経費を節減する	48.2 %	経費を節減する	44.7 %	販路を広げる	37.0 %	販路を広げる	44.1 %
第3位	販路を広げる	39.3 %	販路を広げる	42.6 %	人材を確保する	35.6 %	人材を確保する	32.2 %
第4位	技術力を強化する	21.4 %	技術力を強化する	21.3 %	技術力を強化する	17.8 %	新しい事業を始める	20.3 %
第5位	教育訓練を強化する	16.1 %	宣伝・広告を強化する	14.9 %	教育訓練を強化する	13.7 %	技術力を強化する	15.3 %
			新しい事業を始める	14.9 %				
			教育訓練を強化する	14.9 %				

サービス業 業種別コメント

- 在宅勤務によりワイシャツや背広のほかに、 外出着のクリーニングが少なくなり外出の 機会も減少している。今後も望めなければ 益々売上が大幅に減少すると思われる。
- 2. 新卒者を育成するのは手間とお金がかかるが、5月より技術者が入社したために即戦力となり売上が維持できている。
- 3. コロナウイルス発生後、顧客が減少となった。元に戻すにはコロナウイルスが無くなること。それまでは売上が伸びないと考えている。
- 4. この時期にコロナウイルスの影響により大打撃です。倒産、廃業も視野です。
- 5. 介護保険等のサービスの為、価格が決まっているので、売上と仕入の関係が現状の経費と合わなくなっている。軽度者のサービスを行う程、経営が難しくなっていく。
- 6. コロナ禍によるイベント自粛(中止)に伴う売上大幅減。
- 7. コロナウイルスの影響で厳しい。
- 8. イベント企画・運営業務ということもあり、 コロナウイルスの影響は非常に大きく、未だ 売上が回復しない。
- 9. 受注の減少にともない収益が減少。

- 10. コロナウイルスの影響大。
- 11. コロナウイルスの影響で売上が減少している。
- 12. 女性の清掃員のスタッフを募集しても誰もこない。
- 13. コロナウイルスの影響により、解約、値下げなど大幅に収益が低下。
- 14. 固定客からの受注件数が若干増加した。
- 15. 有休など経費が増加し経営が苦しい。
- 16. フランチャイズ元との解約が一番の課題。
- 17. 新型コロナウイルスの影響によりイベントが中止(規模縮小)。イベントの企画・運営を請け負う当社の収入・収益は大幅に減少した状態が続いている。
- 18. コロナウイルスに依る売上・利益の減少。
- 19. 大口取引先との取引拡大について、やや進捗 に遅れがあるが計画通りに進むと大幅な売 上拡大となる見込み。
- 20. コロナウイルスによる大幅売上減少。早い回復を祈ります!
- 21. 同業者との競合が経営を圧迫している。仕事量が激減。コロナウイルスの状況下では、イベントを実施できない。



()は、前期→今期

売上・収益の動向と業況判断

業況 ($\triangle 65 \rightarrow \triangle 63$) はやや改善した。売上額 ($\triangle 57 \rightarrow \triangle 46$)、施工高 ($\triangle 63 \rightarrow \triangle 47$)、収益 ($\triangle 59 \rightarrow \triangle 51$) はいずれも減少幅がかなり縮小した。

価格•在庫動向

請負価格 ($\triangle 41 \rightarrow \triangle 38$) は下降傾向がやや弱まり、材料価格 ($23 \rightarrow 19$) は上昇傾向がやや弱まった。在庫 ($3 \rightarrow 7$) は過剰感がやや強まった。

資金繰り・借入金動向

資金繰り(△35→△28)は厳しさがかなり和らぎ、借入難易度(2→3)は前期並となった。今期借入れをした企業は38%で前期の34%から4ポイント増加した。

経営上の問題点・重点経営施策

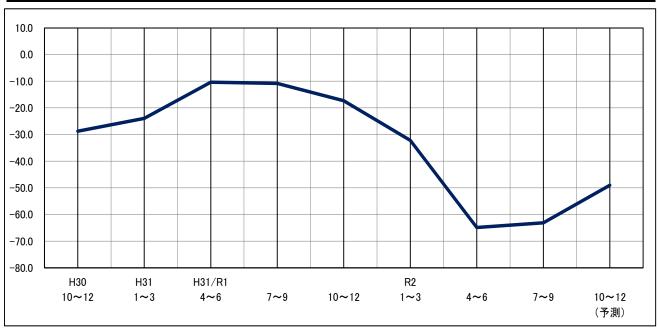
経営上の問題点は、1位は「売上の停滞・減少」が58%、2位は「人手不足」が31%、3位は「利幅の縮小」が30%となった。前期2位だった「利幅の縮小」が今期3位、前期3位だった「人手不足」が今期2位と順位を上げた。

重点経営施策は、1位は「経費を節減する」が49%、2位は「人材を確保する」が44%、3位は「技術力を高める」が39%となった。前期1位だった「人材を確保する」が今期2位と順位を下げ、前期2位だった「経費を節減する」は、今期1位と順位を上げた。

来期の見通し

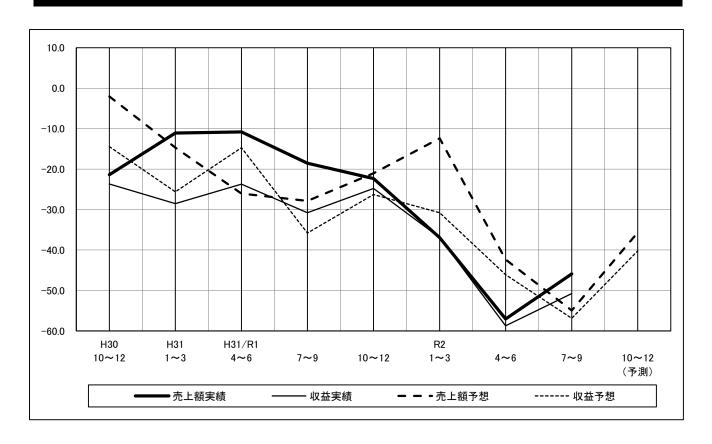
業況(△63→△49)はかなり改善する見込み。売上額、収益はともに減少幅がかなり縮小すると予想されている。

〈建設業〉 品川区の業況の動き (実績) と来期の予測

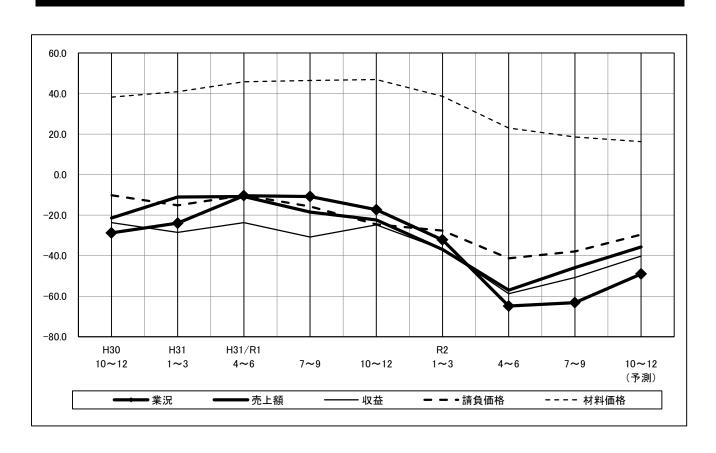


※ 東京都の景況調査では建設業の調査は実施されていないため、全都の建設業の業況は表示していない。

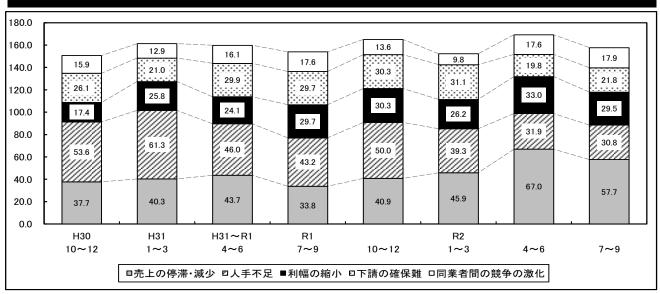
〈建設業〉売上額・収益の実績と予想の推移



〈建設業〉業況と売上額、収益、請負価格、材料価格の動き(実績)と来期の予測

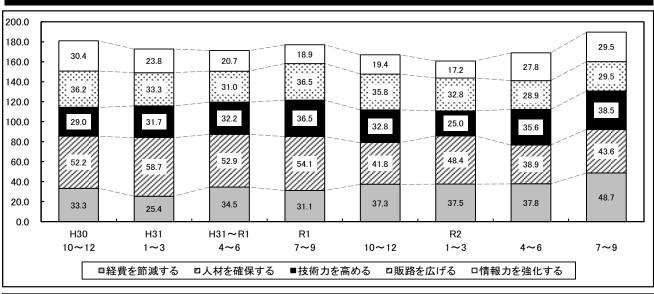


〈建設業〉経営上の問題点(%)



	R1.10~12月期		R2.1~3月期		R2.4~6月期		R2.7~9月期	
第1位	人手不足	50.0 %	売上の停滞・減少	45.9 %	売上の停滞・減少	67.0 %	売上の停滞・減少	57.7 %
第2位	売上の停滞・減少	40.9 %	人手不足	39.3 %	利幅の縮小	33.0 %	人手不足	30.8 %
第3位	利幅の縮小	30.3 %	下請の確保難	31.1 %	人手不足	31.9 %	利幅の縮小	29.5 %
	下請の確保難	30.3 %						
第4位	人件費の増加	18.2 %	利幅の縮小	26.2 %	下請の確保難	19.8 %	下請の確保難	21.8 %
第5位	材料価格の上昇	15.2 %	人件費の増加	23.0 %	同業者間の競争の激化	17.6 %	同業者間の競争の激化	17.9 %

〈建設業〉重点経営施策(%)



	R1.10~12月期		R2.1~3月期		R2.4~6月期		R2.7~9月期	
第1位	人材を確保する	41.8 %	人材を確保する	48.4 %	人材を確保する	38.9 %	経費を節減する	48.7 %
第2位	経費を節減する	37.3 %	経費を節減する	37.5 %	経費を節減する	37.8 %	人材を確保する	43.6 %
第3位	販路を広げる	35.8 %	販路を広げる	32.8 %	技術力を高める	35.6 %	技術力を高める	38.5 %
第4位	技術力を高める	32.8 %	技術力を高める	25.0 %	販路を広げる	28.9 %	販路を広げる	29.5 %
							情報力を強化する	29.5 %
第5位	情報力を強化する	19.4 %	情報力を強化する	17.2 %	情報力を強化する	27.8 %	労働条件を改善する	12.8 %
			労働条件を改善する	17.2 %				

建設業 業種別コメント

- 1. コロナウイルスの為リフォーム工事が減少している。
- 2. 新型コロナウイルスの為、営業活動は難しい。銀行から借入をしても返済が苦しいので借入の実施は行わない。
- 3. 現在スーパーゼネコンへの監督派遣しかしていないので、特に問題ない。
- 4. 業者からの発注が減(売上減)。一般ユーザーからの仕事がウエイト的には大きくなってきているが、収益のボリュームは低い。物件の増で収益率をUPしていくことが当面の目標。
- 5. 売上が減少傾向である。
- 6. 受注が減り、職人(社員)を休ませられない ので現場への人数を多く入れざるをえない。 人件費等により利益が下がる。
- 7. 今まで延期となっていた物件が 9 月から動き出してきて受注増加の傾向。
- 8. 若い人材が不足している。
- 9. 現況の得意先を確実にする事が難しい。
- 10. 大企業の進出により売上は減少傾向である。
- 11. 働いている人が高年齢化している。 なかなか 若い人がいない。
- 12. 動きが無く減収。
- 13. 賃貸しの住宅を主にリフォームしている当 社ですが、人の移動が少ない為売上高が例年 より少ない。
- 14. 新型コロナウイルスの影響で先行き不明。
- 15. コロナウイルスの影響で、受注はあるが、先になかなか進まない。
- 16. オリンピック需要が終わり、物件が少なくなり売上も減少傾向。
- 17. コロナ禍で工事の延期・中止による売上減少。
- 18. 新規の物件がまったくなく、見通しが立たない。
- 19. コロナウイルスにて停滞していた現場(イベント関係)が動き始めましたのでほっとしている。(弊社の売上の 1/4 を占めている為)
- 20. 人手不足で技術力が不足している。
- 21. 外資も増えてきて全てにおいて合理化が進みそれによる価格の減少がおきている。
- 22. エンジンメーカーの民需設備の受注減少による売上の減少。

- 23. コロナウイルスの影響で来年の仕事の受注が心配。
- 24. 発注予定のはずが延期等、お客様が躊躇している様子。
- 25. 売上減少により在庫が多少増加傾向にある。
- 26. 需要が増えているが 2~3 年の間と思われる。
- 27. 人手不足により、工事が受注出来ないでいる。
- 28. コロナウイルスにより、中国製材料調達不足による工期延長で人件費が嵩み、利益の減少につながっている。
- 29. コロナウイルスの影響もあり、ビルのテナントの空き、及び空調の使用が減り、通常の交換時期より遅れが出ている。
- 30. 受注単価が下がり始め、収益が出しづらくなっている。建設業はノルマ業界なので、働き方改革を全うし、収益を上げるのが難しい。
- 31. コロナ禍で急な発注に応えているので前期 と変わらず売上げているが、人手不足の為、 今後も急な発注に応えられるか不安である。
- 32. コロナになり当方のユーザーが飲食、賃貸店舗等、各所で本年始めの新規店舗がことごとく計画中止となった。
- 33. 一時的にはコロナウイルスの影響で工事が出来なかったが、その後に回復したため例年通りとなった。
- 34. 受注量が減少してきている。設備投資を各企業が控えている。
- 35. 新しい工法を導入と、販路の拡大のためのH P修正、チラシ作成を行っている。
- 36. オリンピック以降の仕事は減少傾向であったが、来期は増加傾向である。
- 37. 遠からず廃業予定。
- 38. 工期が集中する事が多く感じる。大手ゼネコンは少し工期について考えてもらいたい。
- 39. コロナウイルスによる減益が続いている。
- 40. 今年も年末に向けて需要が増えてきたので安定した収入が得られる。
- 41. コロナ禍の影響がどこまで出てくるか不透明である。
- 42. オリンピック関連の工事が終わり、発注量の激変により仕事量が減った。

[調査対象企業数]

(2020年9月調査)

	製造業	非製造業	合計	回答率
全国企業	3,944社	5,593社	9,537社	99.3%
うち大 企 業	995社	897社	1,892社	98.7%
中堅企業	1,026社	1,652社	2,678社	99.3%
中小企業	1,923社	3,044社	4,967社	99.5%

(参考)事業計画の前提となっ	ている相定為麸し	一ト(全相構・全産業)

		2019年度			2020年度		
1			上期	下期		上期	下期
円/	2020年6月調査	108.73	108.88	108.59	107.87	107.88	107.86
ドル	2020年9月調査	_			107.34	107.39	107.30
円/	2020年6月調査	121.65	122.17	121.13	119.74	119.74	119.74
ユーロ	2020年9月調査	_	_		120.42	120.35	120.49

[##:D30104]

(「良い」- 「悪い」・%ポイント)

_[業況判断]	(「艮い」-「悪い」・%ポイント)						
	2020年6	3月調査	2020年9月調査				
	最近	先行き	最近	変化幅	先行き	変化幅	
大企業							
製 造 業	-34	-27	-27	7	-17	10	
非製造業	-17	-14	-12	5	-11	1	
全 産 業	-26	-21	-21	5	-14	7	
中堅企業							
製 造 業	-36	-41	-34	2	-30	4	
非製造業	-27	-29	-23	4	-25	-2	
全 産 業	-30	-33	-28	2	-27	1	
中小企業							
製 造 業	-45	-47	-44	1	-38	6	
非製造業	-26	-33	-22	4	-27	-5	
全 産 業	-33	-38	-31	2	-31	0	
全規模合計							
製 造 業	-39	-40	-37	2	-31	6	
非製造業	-25	-28	-21	4	-24	-3	
全 産 業	-31	-34	-28	3	-27	1	

[売上高・収益計画]

(前年度比・%)

		2019年度		2020年度	
			修正率	(計画)	修正率
	製造業	-3.2	_	-6.7	-4.1
	国内	-1.9	_	-6.3	-4.5
大企業	輸出	-5.9	_	-7.5	-3.4
	非製造業	-2.5	_	-3.9	-2.5
	全産業	-2.8	_	-5.0	-3.2
	製造業	-1.2	_	-7.8	-3.3
中堅企業	非製造業	1.9	_	-6.9	-3.2
	全産業	1.1	_	-7.2	-3.2
	製造業	-2.7	_	-9.8	-2.1
中小企業	非製造業	0.3	_	-9.1	-1.7
	全産業	-0.4	_	-9.3	-1.8
	製造業	-2.8	_	-7.4	-3.7
全規模合計	非製造業	-0.6	_	-6.2	-2.4
	全産業	-1.4	_	-6.6	-2.8

(注)修正率・幅は、前回調査との対比。

「雲給・在庫・価格判断〕

(%ポイント)

					(70-1-12-17			
		2020年	6月調査		2020年	9月調査		
中小企	業	最近	先行き	最近	変化幅	先行き	変化幅	
国内での製商品・	製造業	-45	-46	-43	2	-41	2	
サービス需給判断	うち素材業種	-50	-49	-48	2	-45	3	
(「需要超過」一	加工業種	-42	-43	-41	1	-38	3	
「供給超過」)	非製造業	-29	-32	-28	1	-30	-2	
海外での製商品需給	製造業	-42	-40	-39	3	-34	5	
判断 (「需要超過」—	うち素材業種	-48	-47	-46	2	-39	7	
「供給超過」)	加工業種	-37	-37	-34	3	-30	4	
製商品在庫	製造業	28		25	-3			
水準判断	うち素材業種	32		30	-2			
(「過大」-「不足」)	加工業種	25		21	-4			
製商品流通在庫	製造業	33		31	-2			
水準判断	うち素材業種	38		37	-1			
(「過大」-「不足」)	加工業種	29		25	-4			
	製造業	-8	-11	-8	0	-9	-1	
販売価格判断	うち素材業種	-8	-8	-6	2	-6	0	
(「上昇」-「下落」)	加工業種	-9	-13	-9	0	-11	-2	
	非製造業	-8	-9	-7	1	-7	0	
	製造業	12	17	14	2	20	6	
仕入価格判断	うち素材業種	7	15	12	5	17	5	
(「上昇」-「下落」)	加工業種	14	19	14	0	21	7	
	非製造業	9	15	12	3	15	3	

東京都と品川区の企業倒産動向(令和2年9月)

1. 東京都の倒産概況

1. 東京都の倒産概況 (単位: 件・億F									
	A 10 - 10 0	A 100 TO D	A 100 TO D						
	令和元年9月	令和2年8月	令和2年9月	前月比	前年同月比				
件 数	142	127	106	▲ 21	▲ 36				
金 額	498	133	145	12	▲ 353				

2. 原因別倒産動向

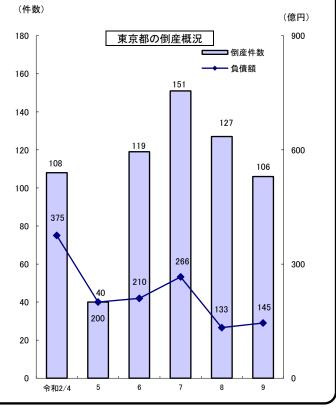
2 . 原因別倒産動向 _(単位:件・億円)									
1	放漫経営	ì	過小資本	他社	倒産の余波	既住	のしわよせ	販	売不振
7 37.3 2 3.0 4 6.9 9 15.3 81 77.4							77.4		
売	掛金回収難	信	用性低下	在庫	状態悪化	設備	投資過大	74	その他
0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	3.0	2	2.4

3. 業種別倒産動向

3. 茉種別倒産動问 (単位:件·億円)							
		件数		金額			
	前年同月	前月	当月	前年同月	前月	当月	
製造業	20	5	8	99	5	37	
卸売業	31	28	19	326	58	27	
小売業	16	11	13	28	24	13	
サービス業	27	25	23	10	14	12	
建設業	16	13	8	11	13	2	
不動産業	1	7	6	0	4	17	
情報通信業·運輸業	13	21	9	9	12	7	
宿泊業,飲食サービス業	13	12	17	6	3	24	
その他	5	5	3	10	1	3	
合計	142	127	106	498	133	145	

4 品川区内の令和2年9月の倒産動向

<u>4. 品川区内の予和 2 年</u>		
業 種	件数	負債総額
製 造 業	1 件	3,035百万円
卸 売 業	1 件	30百万円
小 売 業	0 件	0百万円
サービス業	0 件	0百万円
建設業	0 件	0百万円
不動産業	0 件	0百万円
情報通信業·運輸業	0 件	0百万円
宿泊業,飲食サービス業	0 件	0百万円
その他	0 件	0百万円
合 計	2 件	3,065百万円



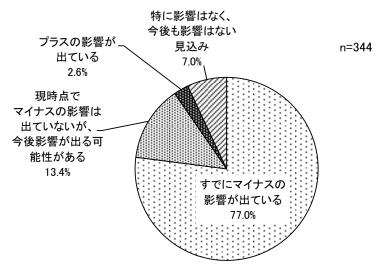
特別調査「新型コロナウイルス感染症による影響」

- ① 新型コロナウイルス感染症による影響の有無については「すでにマイナスの影響が出ている」が 77.0%で最多
- ② 具体的な影響については「製品・サービスの受注・売上減少」が77.0%で最多
- ③ 自社で行った対策ついては「衛生環境の充実(感染予防)」が56.5%で最多
- ④ 行政に期待する支援については「資金面での支援制度の拡充」が57.3%で最多

問1. 新型コロナウイルス感染症による影響の有無

新型コロナウイルス感染症による企業活動への影響の有無については、全体では「すでにマイナスの影響が出ている」が77.0%で最も多く、次いで「現時点でマイナスの影響は出ていないが、今後影響が出る可能性がある」が13.4%、「特に影響はなく、今後も影響はない見込み」が7.0%となった。

いずれの業種においても、景気の見通しについて、「すでにマイナスの影響が出ている」に回答が集中していることを示す結果となった。「今後も影響はない」と回答した企業の割合が最も多いのは建設業で、17.1%となっており、他の業種で「今後も影響はない」と回答した企業は 1 割に満たなかった。なお、「すでにマイナスの影響が出ている」と回答した企業の割合が最も多いのは小売業の 90.0%、最も少ないのは建設業の 55.3%で、業種間の差は 34.7 ポイントとなっている。



(単位:9	6)
-------	----

	すでに マイナスの 影響が 出ている	現けます。 現けまでのでいる。 表でのでいる。 のでいる。 のでいる。 はいが響がまる。 がある。	プラスの 影響が 出ている	特に影響は なく、今後 も影響は ない見込み
全 体 (344) 件	77. 0	13. 4	2. 6	7. 0
製 造 業 (77) 件	84. 4	11.7	2. 6	1.3
卸 売 業 (79) 件	82. 3	7. 6	5. 1	5. 1
小 売 業 (50) 件	90. 0	2. 0	6. 0	2. 0
サービス業 (62) 件	77. 4	14. 5	0. 0	8. 1
建 設 業 (76) 件	55. 3	27. 6	0. 0	17. 1

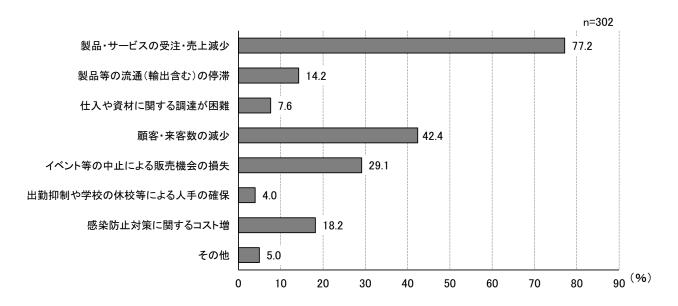
※図表中の構成比は、小数点第2位以下を四捨五入している。

そのため、合計した値が100%にならない場合がある(他設問についても同様)。

問2. 具体的な影響内容

新型コロナウイルス感染症による具体的な影響内容については、全体では「製品・サービスの受注・ 売上減少」が 77.2%と最も多く、次いで「顧客・来客数の減少」が 42.4%、「イベント等の中止による 販売機会の損失」が 29.1%となった。

ほとんどの業種で、「製品・サービスの受注・売上減少」に回答が集中していることを示す結果となった。一方で、小売業においては「顧客・来客数の減少」が8割以上と、他の業種に比べ極端に高い割合となっている。また、「イベント等の中止による販売機会の損失」も50.0%と、他の業種よりも回答割合が高い。

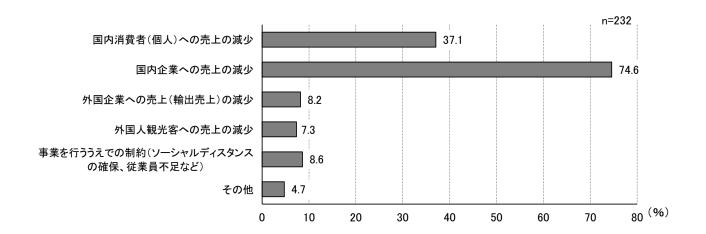


								(単位:%)
	製品・サー ビスの受 注・売上減 少	製品等の流 通(輸出含 む)の停滞	仕入や資材 に関する調 達が困難	顧客・来客数の減少	イベント等 の中止によ る販売機会 の損失	出勤抑制や 学校の休校 等による人 手の確保	感染防止対 策に関する コスト増	その他
全 体 (302) 件	77. 2	14. 2	7. 6	42. 4	29. 1	4. 0	18. 2	5. 0
製 造 業 (73) 件	94. 5	24. 7	6.8	32. 9	23. 3	1.4	9. 6	0.0
卸 売 業 (68) 件	86.8	22. 1	14. 7	42. 6	35. 3	2. 9	10. 3	1.5
小 売 業 (46) 件	67. 4	6. 5	4. 3	84. 8	50.0	6. 5	30. 4	8. 7
サービス業 (55) 件	65. 5	3. 6	0.0	36. 4	34. 5	10.9	21.8	3.6
建 設 業 (60) 件	63.3	8. 3	10.0	26. 7	8. 3	0.0	25. 0	13. 3

問3. 売上高減少の要因

売上高減少の要因については、「国内企業への売上の減少」が 74.6%と最も多く、次いで「国内消費者 (個人) への売上の減少」が 37.1%、「事業を行ううえでの制約 (ソーシャルディスタンスの確保、従業員不足など)」が 8.6%と続いた。

ほとんどの業種で、「国内企業への売上の減少」に回答が集中していることを示す結果となった。一方で、小売業において「国内企業への売上の減少」は23.3%にとどまり、「国内消費者(個人)への売上の減少」が9割超と、他の業種に比べ極端に高い割合となっている。また、製造業では「外国企業への売上(輸出売上)の減少」が18.8%と、他の業種よりも回答割合が高い。

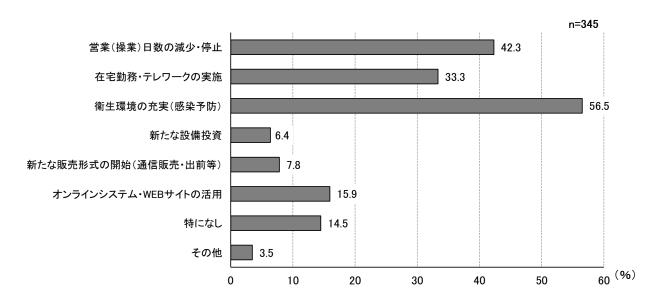


						(単位:%)
	国内消費者 (個人)へ の売上の減 少	国内企業へ の売上の減 少	外国企業へ の売上(輸 出売上)の 減少	外国人観光 客への売上 の減少	事業を行う制 きたのリー イの シャタ、、 は は いルン、 は は と と と と で の ルン、 な 保 不 の に れ い に れ い た る な 、 の た る 、 の よ る 、 に よ る 、 に よ と る と る よ と と と と と と と と と と と と と と	その他
全 体 (232) 件	37. 1	74. 6	8. 2	7. 3	8. 6	4. 7
製 造 業 (69) 件	23. 2	89. 9	18.8	1. 4	2. 9	5. 8
卸 売 業 (59) 件	33. 9	79. 7	10. 2	15. 3	5. 1	1. 7
小 売 業 (30) 件	93. 3	23. 3	0. 0	20. 0	23. 3	0.0
サービス業 (36) 件	38. 9	66. 7	0. 0	0. 0	16. 7	8. 3
建 設 業 (38) 件	21. 1	86.8	0. 0	2. 6	5. 3	7. 9

問4. 自社経営で取組んだこと

自社経営で取組んだことについては、「衛生環境の充実(感染予防)」が 56.5%と割合が最も多く、次いで「営業(操業)日数の減少・停止」が 42.3%、「在宅勤務・テレワークの実施」が 33.3%と続いた。

業種別にみると、「在宅勤務・テレワークの実施」について、卸売業が 44.3%、サービス業が 41.9%と高い割合を示す一方、小売業では 10.2%と非常に低くなっている。さらに、小売業においては「営業(操業)日数の減少・停止」が 61.2%、「新たな販売形式の開始(通信販売・出前等)」が 24.5%、「新たな設備投資」が 14.3%と、他の業種と比べて高い割合を示している。



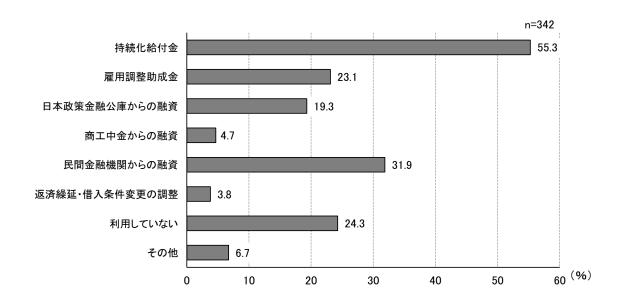
(単位:%)

	営業(操 業)日数の 減少・停止	在宅勤務・ テレワーク の実施	衛生環境の 充実(感染 予防)	新たな設備 投資	新たな販売 形式の開始 (通信販 売・出前 等)	オンライン システム・ WEBサイトの 活用	特になし	その他
全 体 (345) 件	42. 3	33. 3	56.5	6. 4	7.8	15. 9	14. 5	3. 5
製 造 業 (77) 件	46.8	29. 9	44. 2	2. 6	3. 9	15. 6	22. 1	3. 9
卸 売 業 (79) 件	41.8	44. 3	44. 3	2. 5	7. 6	21.5	17. 7	3.8
小 売 業 (49) 件	61. 2	10. 2	69. 4	14. 3	24. 5	12. 2	10. 2	4. 1
サービス業 (62) 件	37. 1	41. 9	53. 2	9. 7	9. 7	12. 9	9. 7	4. 8
建 設 業 (78) 件	30.8	33. 3	75. 6	6. 4	0.0	15. 4	10. 3	1.3

問5. 給付金・助成金・融資など、国や金融機関の支援策の利用

給付金・助成金・融資など、国や金融機関の支援策の利用については、「持続化給付金」が 55.3%と 割合が最も多く、次いで「民間金融機関からの融資」が 31.9%、「利用していない」が 24.3%と続いた。

小売業を除くすべての業種において上位3項目は全体と同様の傾向となった。小売業では「日本政策金融公庫からの融資」が唯一3割を超えた。「持続化給付金」についてみると、回答割合が最も多いのは小売業の86.0%、最も少ないのはサービス業の48.4%で、業種間の差は37.6ポイントとなった。



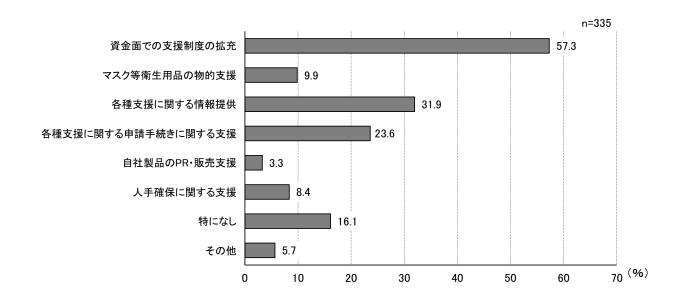
(単位:%)

	持続化給付金	雇用調整助 成金	日本政策金 融公庫から の融資	商工中金か らの融資	民間金融機 関からの融 資	返済繰延・ 借入条件変 更の調整	利用してい ない	その他
全 体 (342) 件	55.3	23. 1	19.3	4. 7	31.9	3.8	24. 3	6. 7
製 造 業 (75) 件	50.7	22. 7	18. 7	5. 3	28. 0	5. 3	24. 0	8. 0
卸 売 業 (77) 件	49.4	20. 8	22. 1	3. 9	33.8	2. 6	24. 7	7. 8
小 売 業 (50) 件	86.0	34. 0	32. 0	8. 0	48. 0	8. 0	4. 0	6. 0
サービス業 (62) 件	48.4	30. 6	21.0	4. 8	21.0	4. 8	32. 3	4. 8
建 設 業 (78) 件	51.3	12. 8	7. 7	2. 6	32. 1	0.0	30.8	6. 4

問6. 行政に期待する支援

行政に期待する支援については、「資金面での支援制度の拡充」が 57.3%と割合が最も多く、次いで「各種支援に関する情報提供」が 31.9%、「各種支援に関する申請手続きに関する支援」が 23.6%と続いた。助成金、補助金申請やその手法・情報提供といった、事業継続の根幹に関わる項目が上位 3 位を占めた。

上記の傾向はすべての業種において同様の傾向となった。「資金面での支援制度の拡充」についてみると、回答割合が最も多いのは小売業の70.8%、最も少ないのは卸売業の46.8%で、業種間の差は24.0 ポイントとなった。



(単位:%)

	資金面での 支援制度の 拡充	マスク等衛 生用品の物 的支援	各種支援に 関する情報 提供	各種支援に 関する申請 手続きに関 する支援	自社製品の PR・販売支 援	人手確保に 関する支援	特になし	その他
全 体 (335) 件	57. 3	9. 9	31.9	23. 6	3. 3	8. 4	16. 1	5. 7
製 造 業 (74) 件	59. 5	6.8	24. 3	16. 2	2. 7	1. 4	17. 6	9. 5
卸 売 業 (77) 件	46.8	10. 4	35. 1	23. 4	6. 5	5. 2	19. 5	5. 2
小 売 業 (48) 件	70.8	10. 4	39.6	39.6	4. 2	10. 4	4. 2	4. 2
サービス業 (61) 件	59.0	9.8	31. 1	26. 2	0.0	11.5	18. 0	8. 2
建 設 業 (75) 件	56. 0	12. 0	32. 0	18. 7	2. 7	14. 7	17. 3	1.3

中小企業景況調查 比較表•転記表

製造業

品川区 中小企業景況調査 比較表 令和2年7月~9月期

	州の京ボ]	全体	電気機械器具	一般機械器具· 金型	出版·印刷· 同関連産業	金属製品・建設 用金属製品・ プレスメッキ	プラスチック製品
業況	元	-78	-27	-90	-100	-100	-86
売」	上額	-63	-18	-72	-56	-93	-88
受注	主残	-54	-15	-55	-64	-92	-69
収益	±	-56	-5	-57	-59	-93	-79
販売		-18	10	-24	-18	-44	-23
原札	才料価格	14	22	20	-10	9	19
原札	才料在庫	11	30	13	0	-6	11
資金	企繰り	-33	13	-40	-48	-73	-28
雇	残業時間	-30	-6	-25	-46	-39	-60
用	人手	16	0	21	46	-7	30
同	売上額	-78	0	-92	-100	-79	-90
期比	収益	-77	-39	-92	-100	-71	-90
	①売上の停滞・減少	83	83	79	91	93	70
経営	②利幅の縮小	21	11	17	36	36	10
上の	③同業者間の競争の激化	7	17	4	0	7	0
問題	④原材料高	9	17	8	0	7	10
点	⑤販売納入先からの値下げ要請	5	6	4	0	7	10
	①販路を広げる	56	44	75	60	43	44
重	②経費を節減する	48	39	33	80	64	44
点経	③新製品・技術を開発する	27	33	38	10	7	33
営施	④情報力を強化する	24	17	25	30	36	11
策	⑤人材を確保する	19	22	21	10	14	22
借力	<u> </u> 	21	28	29	20	0	20
[来	期の景況見通し]						
業況		-78	-49	-91	-100	-83	-87
売」	上額	-50	-44	-35	-66	-64	-78
受注	主残	-41	-26	-34	-55	-50	-63
収益	<u> </u>	-50	-34	-41	-63	-71	-77
販売		-19	5	-14	-29	-45	-26
原木	才料価格	17	20	26	6	8	20
	+W + F						

原材料在庫

雇 <u>残業時間</u> 用

資金繰り

11

-37

-28

17

32

-1

-6

0

-35

-17

13

8

-68

-55

55

-7

-72

-39

7

16

-29

-50

30

^{*}単純D·Iを表示している項目。雇用面、前年同期比、借入難易度

^{*}企業割合(%)を表示している項目。経営上の問題点、重点経営施策

小 売 業

品川区 中小企業景況調査 比較表 令和2年7月~9月期

[今期の景況]

	期の景況」	全体	飲食料品	飲食店	衣服・呉服・ 身の回り品
業況	ł	-74	-27	-97	-71
売上	-額	-11	1	-3	-31
収益	ŧ	-25	-14	-19	-40
販売	· 価格	-4	17	-6	-12
仕み	価格	24	22	32	14
在戽		4	12	1	5
資金	会繰り	-29	-17	-32	-32
雇	残業時間	-31	-11	-48	-18
用	人手	12	0	12	18
同	売上額	-80	-33	-100	-77
期比	収益	-80	-33	-100	-77
	販売価格	-18	-11	-16	-24
	①売上の停滞・減少	88	56	96	0
経営	②仕入先からの値上げ要請	2	0	0	0
上の	③人手不足	12	11	20	0
問題	④利幅の縮小	32	44	36	0
点	⑤同業者間の競争の激化	12	22	12	0
	①経費を節減する	67	67	67	0
重	②宣伝・広報を強化する	22	33	25	0
点経常	③売れ筋商品を取扱う	25	11	25	0
営施策	④人材を確保する	12	22	13	0
來	⑤仕入先を開拓・選別する	8	0	4	0
借り	の難易度	10	0	14	12

[来期の景況見通し]

<u>L</u>	朔の京沈兄进し				
業況	ł	-65	-14	-81	-68
売上	額	-23	-14	-13	-41
収益	Ě	-26	-23	-20	-38
販売	価格	-12	11	-15	-21
仕み	価格	13	22	19	-1
在庫	Ī	3	14	-5	11
資金	注解り	-36	-27	-42	-32
雇	残業時間	-22	-11	-36	-6
用	人手	12	11	8	18

- *単純D·Iを表示している項目。雇用面、前年同期比、借入難易度
- *企業割合(%)を表示している項目。経営上の問題点、重点経営施策

中分類:業種合計

-= D	調査期	Н3		Н		H31			R1	R			22	R			R2	対	R2
項目		10~1		1~3		4~6			月期	10~1		1~3		4~6			月期	前期比	10~12月期
	良い	29.0	22.4	23.0	23.2	19.5	19.2	12.0	14.3	17.7	12.0	17.7	12.7	10.5	11.3	5.3	3.5		4.1
	普通	36.2	37.3	43.2	31.9	33.3	39.7	26.7	33.3	25.3	33.3	19.4	39.2	10.5	16.1	7.9	14.1		13.5
業況	悪い	34.8	40.3	33.8	44.9	47.1	41.1	61.3	52.4	57.0	54.7	62.9	48.1	79.1	72.6	86.8	82.4		82.4
	D•I	-5.8	-17.9	-10.8	-21.7	-27.6	-21.9	-49.3	-38.1	-39.2	-42.7	-45.2	-35.4	-68.6	-61.3	-81.6	-78.8		-78.4
	修正值	-10.6	-22.0	-19.9	-24.2	-24.1	-23.3	-43.1	-34.4	-40.5	-44.6	-48.6	-36.5		-59.1	-78.1	-75.4	-13.0	-77.9
	傾向値	-15.6		-15.9		-17.5		-21.1		-27.6		-36.0		-45.5		-54.6			
	増加	36.2	28.6	20.3	24.6	20.7	16.2	16.2	18.4	27.8	18.7	17.7	11.4	11.6	6.5	10.4	5.9		19.7
_	変らず	29.0	34.3	44.6	24.6	26.4	41.9	23.0	31.0	19.0	30.7	25.8	39.2	9.3	27.4	11.7	22.4		14.5
売上	減少	34.8	37.1	35.1	50.7	52.9	41.9	60.8	50.6	53.2	50.7	56.5	49.4	79.1	66.1	77.9	71.8		65.8
額	D•I	1.4	-8.6	-14.9	-26.1	-32.2	-25.7	-44.6	-32.2	-25.3	-32.0	-38.7	-38.0	-67.4	-59.7	-67.5	-65.9		-46.1
	修正值	-11.8	-16.4	-22.3	-30.7	-20.7	-19.3	-38.8	-28.5	-33.3	-36.7	-42.6	-40.1	-58.5	-52.7	-63.2	-62.5	-5.0	-49.7
	傾向値	-11.9		-13.6		-15.0		-19.3		-25.9		-32.2		-39.6		-46.9			
	増加	14.7	23.2	16.2	14.7	14.0	14.9	12.5	18.6	14.3	12.3	6.5	5.1	11.6	4.8	9.2	5.9		16.0
	変らず	45.6	42.0	52.7	42.6	43.0	51.4	31.9	39.5	40.3	38.4	43.5	48.7	16.3	43.5	23.7	23.5		28.0
受注	減少	39.7	34.8	31.1	42.6	43.0	33.8	55.6	41.9	45.5	49.3	50.0	46.2	72.1	51.6	67.1	70.6		56.0
残	D•I	-25.0	-11.6	-14.9	-27.9	-29.1	-18.9	-43.1	-23.3	-31.2	-37.0	-43.5	-41.0	-60.5	-46.8	-57.9	-64.7		-40.0
	修正值	-27.8	-15.9	-23.0	-28.8	-23.1	-20.7	-39.8	-19.3	-32.6	-37.8	-47.2	-39.9	-54.9	-46.7	-54.2	-61.1	1.0	-40.7
	傾向値	-14.6		-18.2		-20.5		-24.9		-28.8		-33.1		-40.6		-46.4			
	増加	30.4	22.9	20.5	22.1	11.5	13.5	12.3	14.9	17.9	18.7	14.5	9.0	10.5	11.3	10.4	8.3		18.4
	変らず	36.2	35.7	45.2	33.8	33.3	43.2	20.5	31.0	25.6	30.7	27.4	39.7	11.6	29.0	18.2	17.9		15.8
収	減少	33.3	41.4	34.2	44.1	55.2	43.2	67.1	54.0	56.4	50.7	58.1	51.3	77.9	59.7	71.4	73.8		65.8
益	D•I	-2.9	-18.6	-13.7	-22.1	-43.7	-29.7	-54.8	-39.1	-38.5	-32.0	-43.5	-42.3	-67.4	-48.4	-61.0	-65.5		-47.4
	修正值	-15.6	-25.6	-22.4	-26.8	-33.5	-24.8	-48.9	-35.9	-45.5	-36.8	-48.2	-44.4	-58.5	-43.1	-55.7	-60.4	3.0	-50.4
	傾向値	-20.0		-21.0		-22.6		-26.1		-33.2		-41.4		-48.1		-51.8			
	販売価格	-7.1	-8.7	-5.4	-8.7	-13.8	-5.4	-12.2	-19.5	-6.3	-14.9	-13.1	-12.7	-20.9	-6.6	-20.8	-15.3		-19.7
	〃 修正値	-8.7	-11.4	-9.5	-9.1	-11.4	-8.6	-11.9	-16.7	-10.1	-16.9	-15.2	-14.0	-16.5	-9.7	-18.4	-11.5	-2.0	-19.1
価格	" 傾向値	-12.1		-11.0		-10.7		-10.2		-9.5		-10.4		-12.2		-14.2			
動向	原材料価格	37.1	52.9	47.3	36.2		35.1		41.4		36.5		20.3	3.5	23.0	13.2	8.2		18.7
	"修正值	39.0	51.5	49.0	40.0	43.6	37.3	32.1	39.9	36.3	38.0	27.4		5.2	23.5	14.3	7.7		17.3
	"傾向値	43.7	0.110	44.7		43.9		41.2	30.0	38.9		35.9	20.0	28.4		21.3			.,,,
在	原材料在庫数量	8.7	0.0	5.4	7.5	15.9	5.4	20.3	11.4	6.4	18.7	11.5	10.3	7.2	16.4	13.3	3.7		9.3
庫	// 修正值		1.6	7.7			4.1	18.3	9.3	8.3	19.8	14.0		5.8	14.7	10.7		5.0	10.8
資金		-17.4	-31.4	-8.1				-26.7		-20.5	-33.3	-29.0			-40.3	-33.8		0.0	-37.7
繰り	資金繰り " 修正値		-31.4 -32.8			-17.7			-22.7		-32.2		-26.9		-41.6		-49.7	12.0	-36.7
前		4.5	J2.0	-9.8	10.7	-32.1	21.2	-30.1	-L.J	-40.6	JE.E	-57.4	20.0	-67.9	71.0	-77.9	70.7	12.0	30.7
同	売上額																		
期比	収益	-7.6		-10.0		-35.7		-38.4		-46.3		-58.1		-64.7		-76.6			
	CR # IC FR	4.5	0.4	0.0	45.0	00.0	10.1	04.0	00.0	04.0	,,	01.1	04.0	44.0	07.0	00.0	04.4		27.5
用	残業時間	-1.5	-9.4		-15.6		-16.4	-24.3			-4.1	-31.1			-27.9	-30.3			-27.6
	人手	-21.2	-15.4	-37.1	-18.8	-26.2	-25.8	-16.2	-18.1	-10.1	-18.9	-15.0	-10.1	8.3	-6.7	15.6	10.8		16.9
λ	借入難易度	10.9		16.9		8.4		2.7		4.6		1.6		10.8		21.3			
金	借入をした(%)	31.7	18.3	32.3	29.3	25.3	24.6	28.4	21.0	31.7	29.0	27.4	32.8	42.0	23.3	46.1	36.0		26.9
	借入をしない(%)	68.3	81.7	67.7	70.7	74.7	75.4	71.6		68.3	71.0	72.6		58.0	76.7	53.9	64.0		73.1
右动	回答事業所数		70		74		88		75		79		62		86		77		

中分類:業種合計

項目	1	調査期		30 2月期	H3 1∼3		H314		R 7 ∼ 9		R 10~1		R 1~3		R 4∼6	_	R 7∼9		対前期比	R2 10~12月期
- 7.		在の設備	-6.3	-11.3	-17.7	0.0	-14.5	-13.3	-9.3	-12.2	-7.5	-9.3	-8.2	-6.0	-6.1	0.0	7.9	-4.9	סידומינים	5.3
	実	施した	43.5	35.5	38.3	41.9	36.3	32.7	29.6	40.0	29.4	28.6	20.3	25.8	22.2	20.3	30.3	15.0		25.0
設備		事業用地·建物	3.2	1.6	3.3	4.8	5.0	5.5	2.8	6.3	4.4	4.3	1.7	4.5	3.7	0.0	1.3	2.5		0.0
投		機械・設備の新・増設	11.3	6.5	16.7	16.1	11.3	10.9	15.5	18.8	11.8	8.6	8.5	12.1	7.4	5.1	9.2	6.3		6.6
資動	投資		19.4	17.7	15.0	16.1	13.8	10.9	9.9	18.8	7.4	14.3	1.7	7.6	4.9	6.8	6.6	3.8		9.2
向	内		8.1	12.9	10.0	11.3	10.0	10.9	9.9	8.8	16.2	10.0	13.6	7.6	8.6	11.9	11.8	6.3		9.2
%	容	車両	17.7	6.5	15.0	8.1	6.3	7.3	11.3	7.5	7.4	4.3	3.4	3.0	4.9	6.8	9.2	3.8		7.9
		その他	6.5	1.6	0.0	0.0	3.8	1.8	2.8	2.5	0.0	0.0	0.0	1.5	1.2	0.0	1.3	1.3		1.3
	実	施しない	56.5	64.5	61.7	58.1	63.8	67.3	70.4	60.0	70.6	71.4	79.7	74.2	77.8	79.7	69.7	85.0		75.0
	売.	上の停滞・減少	49.2		45.0		54.8		65.3		69.2		66.1		81.2		83.1			
	人:	手不足	29.2		38.3		28.6		27.8		16.9		16.1		10.6		6.5			
	大	手企業との競争の激化	0.0		3.3		1.2		2.8		1.5		0.0		0.0		2.6			
	同	業者間の競争の激化	13.8		6.7		9.5		15.3		18.5		11.3		9.4		6.5			
	親:	企業による選別の強化	4.6		3.3		3.6		4.2		6.2		3.2		1.2		2.6			
		入製品との競争の激化	1.5		6.7		2.4		1.4		1.5		1.6		2.4		2.6			
	合:	理化の不足	9.2		8.3		11.9		8.3		6.2		6.5		5.9		10.4			
	利	幅の縮小	18.5		15.0		16.7		16.7		18.5		29.0		24.7		20.8			
	原	材料高	23.1		23.3		23.8		18.1		15.4		21.0		9.4		9.1			
経	販売	売納入先からの値下げ要請	6.2		5.0		6.0		6.9		0.0		6.5		2.4		5.2			
営上	仕.	入先からの値上げ要請	12.3		11.7		11.9		6.9		4.6		8.1		5.9		3.9			
の	人	件費の増加	12.3		10.0		10.7		9.7		21.5		9.7		11.8		3.9			
問題	人	件費以外の経費増加	9.2		3.3		6.0		6.9		12.3		8.1		5.9		9.1			
点	Ιź	場・機械の狭小・老朽化	18.5		30.0		20.2		19.4		15.4		17.7		17.6		18.2			
%	生	産能力の不足	6.2		6.7		7.1		9.7		6.2		11.3		4.7		3.9			
	下	請の確保難	7.7		13.3		9.5		9.7		9.2		8.1		9.4		3.9			
	代:	金回収の悪化	6.2		1.7		0.0		0.0		0.0		1.6		1.2		0.0			
	地位	価の高騰	0.0		0.0		1.2		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0			
	天化	候の不順	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		1.2		0.0			
	地	場産業の衰退	1.5		1.7		3.6		1.4		1.5		3.2		5.9		2.6			
	大:	手企業・工場の縮小・撤退	4.6		5.0		4.8		11.1		9.2		6.5		4.7		10.4			
	為	替レートの変動	3.1		0.0		1.2		0.0		1.5		3.2		1.2		3.9			
	その	の他	7.7		0.0		3.6		5.6		1.5		8.1		7.1		7.8			
	問	題なし	1.5		1.7		6.0		2.8		3.1		1.6		0.0		3.9			
	販記	路を広げる	54.0		51.7		59.8		54.8		51.5		47.5		62.7		56.0			
	経:	費を節減する	30.2		48.3		43.9		47.9		38.2		37.7		56.6		48.0			
		報力を強化する	19.0		18.3		15.9		16.4		26.5		18.0		20.5		24.0			
		製品・技術を開発する	30.2		21.7		24.4		24.7		20.6		31.1		21.7		26.7			
		采算部門を整理・縮小する	7.9		6.7		8.5		8.2		5.9		3.3		10.8		4.0			
重		携先を見つける	7.9		6.7		13.4		8.2		13.2		11.5		14.5		9.3			
点経		械化を推進する	12.7		11.7		11.0		9.6		10.3		13.1		3.6		5.3			
営施		材を確保する	34.9		41.7		31.7		37.0		33.8		21.3		13.3		18.7			
策		一ト化を図る	0.0		3.3		1.2		2.7		0.0		1.6		2.4		4.0			
%		育訓練を強化する	19.0		10.0		11.0		13.7		10.3		14.8		16.9		9.3			
\sim		動条件を改善する 	6.3		3.3		2.4		2.7		4.4		9.8		3.6		2.7			
		場・機械を増設・移転する	15.9		15.0		6.1		6.8		4.4		3.3		8.4		4.0			
	<u>ተ</u>	動産の有効活用を図る	4.8		5.0		3.7		4.1		4.4		4.9		1.2		4.0			
	-																			
	7 -	7.4h	1.6		0.0		0.0		0.0		2.9		2.2		2.4		10			
		の他	4.8		1.7		7.3		6.8		10.3		3.3 4.9		6.0		9.3			
右が			4.0	70		74		88	0.0	75	10.3	79	4.9	62	0.0	86		77		
有划	凹着	等事業所数		/0		/4		88		/5		79		02		შნ		11		

卸売業

地域名:品川区

中分類:業種合計

項目	調査期	H3 10∼1		H: 1∼3		H31 4~6		R 7∼9		R 10~1	:1 2月期	F 1∼3	2 月期	R 4∼6			₹2 月期	対 前期比	R2 10~12月期
	良い	23.6	20.7	6.6	18.6	20.7	8.0	15.1	14.1	14.3	5.6	7.9	10.5	3.8	1.6	7.7	2.5		9.0
	普通	40.3	41.5	42.1	34.3	28.7	41.3	35.6	27.1	27.3	36.6	20.6	40.8	6.3	15.9	14.1	11.4		16.7
業	悪い	36.1	37.8	51.3	47.1	50.6	50.7	49.3	58.8	58.4	57.7	71.4	48.7	89.9	82.5	78.2	86.1		74.4
況	D•I	-12.5	-17.1	-44.7	-28.6	-29.9	-42.7	-34.2	-44.7	-44.2	-52.1	-63.5	-38.2	-86.1	-81.0	-70.5	-83.5		-65.4
	修正値	-17.0	-20.7	-43.6	-23.7	-27.9	-42.0	-33.1	-41.8	-44.6	-52.8	-58.9	-36.6	-84.4	-78.7	-70.3	-81.7	14.0	-65.4
	傾向値	-25.7		-26.7		-29.1		-29.8		-34.3		-40.6		-50.0		-61.5			
	増加	34.2	30.1	15.8	15.9	18.4	14.5	21.9	17.4	15.6	19.4	20.6	14.5	2.5	7.9	15.4	10.1		15.2
	変らず	28.8	37.3	32.9	37.7	23.0	47.4	23.3	26.7	29.9	27.8	15.9	32.9	11.4	14.3	14.1	19.0		21.5
売上	減少	37.0	32.5	51.3	46.4	58.6	38.2	54.8	55.8	54.5	52.8	63.5	52.6	86.1	77.8	70.5	70.9		63.3
額	D•I	-2.7	-2.4	-35.5	-30.4	-40.2	-23.7	-32.9	-38.4	-39.0	-33.3	-42.9	-38.2	-83.5	-69.8	-55.1	-60.8		-48.1
	修正值	-16.1	-11.2	-30.4	-20.2	-33.1	-22.1	-31.0	-37.5	-45.9	-38.9	-36.8	-30.1	-79.5	-67.0	-54.7	-58.6	25.0	-51.3
	傾向値	-14.9		-16.9		-21.7		-26.3		-32.4		-37.8		-44.1		-52.3			
	増加	27.4	28.0	10.5	14.3	18.4	11.8	17.8	16.3	15.6	11.1	16.1	11.8	2.5	6.5	16.7	10.1		15.2
	変らず	34.2	36.6	32.9	37.1	28.7	48.7	26.0	25.6	29.9	34.7	21.0	36.8	12.7	19.4	11.5	16.5		19.0
収	減少	38.4	35.4	56.6	48.6	52.9	39.5	56.2	58.1	54.5	54.2	62.9	51.3	84.8	74.2	71.8	73.4		65.8
益	D•I	-11.0	-7.3	-46.1	-34.3	-34.5	-27.6	-38.4	-41.9	-39.0	-43.1	-46.8	-39.5	-82.3	-67.7	-55.1	-63.3		-50.6
	修正値	-20.6	-14.0	-41.5	-25.9	-28.1	-27.5	-38.9	-41.5	-44.2	-46.1	-40.3	-32.8	-78.1	-65.5	-56.5	-61.7	22.0	-52.4
	傾向値	-21.6		-23.5		-26.7		-30.0		-36.0		-39.6		-45.6		-53.7			
	販売価格	-5.5	-3.7	0.0	-8.6	-5.8	6.6	-1.4	-7.1	-11.8	-9.9	-14.3	-11.7	-30.4	-22.2	-17.9	-35.4		-20.3
	〃 修正値	-7.4	-1.9	-0.9	-8.5	-3.0	2.7	-0.7	-3.8	-11.3	-6.9	-13.4	-10.7	-25.1	-22.7	-19.3	-31.2	6.0	-18.6
価格	" 傾向値	-2.9		-3.9		-3.9		-3.4		-4.0		-6.5		-11.4		-16.5			
動向	仕入価格	32.9	36.1	39.5	27.1	32.6	44.7	36.1	30.6	10.5	22.5	4.8	14.5	3.8	3.2	16.9	-1.3		12.8
	〃 修正値	29.0	36.8	42.5	29.5	32.2	43.2	43.1	32.8	11.8	26.0	9.4	18.5	5.5	5.2	17.8	1.8	12.0	12.1
	〃 傾向値	32.1		34.2		34.6		34.3		32.5		25.3		17.4		11.4			
在庫	在庫数量	15.3	9.8	13.7	8.6	12.9	8.2	22.5	7.1	18.9	21.4	29.5	20.0	32.0	14.8	15.8	26.7		13.0
資	〃 修正値	19.0	10.5	10.5	9.3	15.6	5.4	19.2	10.4	20.9	18.9	24.8	18.4	33.5	13.3	15.6	29.4	-18.0	12.3
金繰	資金繰り	1.4	-15.9	-3.9	4.3	-14.9	-6.6	-11.1	-17.6	-6.5	-11.3	-12.7	-7.9	-32.1	-25.4	-14.3	-37.2		-19.2
Ŋ	〃 修正値	-0.4	-16.7	-6.8	4.2	-15.4	-8.6	-6.8	-16.3	-9.6	-11.1	-14.5	-8.5	-29.1	-25.8	-11.8	-33.7	17.0	-19.2
前年	売上額	-13.7		-45.1		-23.0		-27.8		-35.8		-53.2		-75.9		-66.7			
同期	収益	-20.5		-45.1		-34.5		-36.1		-41.8		-58.1		-82.3		-70.5			
比	販売価格	0.0		0.0		-3.5		-5.6		-1.5		-23.0		-36.7		-31.2			
	残業時間	-12.5	0.0	-5.6	-11.1	-17.4	-8.5	-6.9	-11.6	-12.1	-4.2	-22.6	-20.0	-55.1	-30.6	-31.2	-27.3		-22.1
用	人手	-28.8	-36.6	-26.8	-21.9	-19.8	-22.5	-29.6	-25.6	-23.1	-27.5	-9.7	-15.4	15.4	-8.1	2.6	15.4		0.0
借	借入難易度	8.5		4.3		-2.4		7.0		3.1		-6.3		4.0		2.6			
7	借入をした(%)	35.6	25.0	27.5	22.4	34.5	24.6	34.7	28.0	32.8	25.8	35.0	28.6	40.3	31.1	46.2	42.3		29.2
	借入をしない(%)	64.4	75.0	72.5	77.6	65.5	75.4	65.3	72.0	67.2	74.2	65.0	71.4	59.7	68.9	53.8	57.7		70.8
有効	回答事業所数		73		76		87		73		77		63		80		79		

中分類:業種合計

項目		調査期	H3	30 2月期	H3 1 ~ 3		H31 4~6		R	1 月期	R 10~1		R 1~3			2 月期	R 7∼9		対	R2 10~12月期
块;		生の設備			-11.9				-8.7	<u>月积</u> −14.6	-7.9						-8.3	月初 -7.0	削粉几	
		布した	-11.9	-7.7		-12.1	-11.0 37.3	-9.1		36.8		-10.3	-3.4	-3.2	-1.4	-3.4				-8.5
設			25.0 0.0	28.4 5.4	33.8	31.9	1.2	30.8	33.8	1.3	29.0	33.8	24.6	37.7 4.9	28.4	0.0	36.4 5.2	31.0 4.2		30.4
備投		事業用地・建物		2.7	6.2	0.0 5.8	4.8	0.0	4.4	3.9	1.6	4.6	1.8	8.2	1.4	0.0		7.0		2.9
資動	投资	機械・設備の新・増設	1.5 4.4		6.2	7.2	7.2	3.1	8.8 5.9	6.6	6.5	7.7	1.8	8.2	8.1 8.1	3.7	5.2 6.5	2.8		8.7
向	資内	機械・設備の更改		8.1 14.9	13.8	15.9	21.7	15.4		23.7	4.8	18.5	1.8	21.3	16.2	16.7	20.8	18.3		
%	容	事務機器	17.6	12.2	16.9		15.7	9.2	19.1	11.8	22.6 12.9	12.3	15.8	14.8	10.8	11.1	13.0	7.0		17.4
\sim		車両 7.00世	0.0	1.4	1.5	0.0	2.4	1.5	0.0	2.6	0.0	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	0.0		0.0
	実施	その他 もしない	75.0	71.6	66.2	68.1	62.7	69.2	66.2	63.2	71.0	66.2	75.4	62.3	71.6	79.6	63.6	69.0		69.6
		上の停滞・減少	40.3	71.0	48.5	00.1	54.9	03.2	60.0	03.2	53.8	00.2	58.3	02.5	77.6	73.0	66.7	03.0		09.0
		手不足	22.2		20.6		18.3		24.3		15.4		8.3		6.6		14.1			
		ナイル 業者間の競争の激化	22.2		25.0		26.8		21.4		21.5		18.3		21.1		17.9			
			2.8		1.5		4.9		1.4		0.0		0.0		2.6					
		入製品との競争の激化	8.3		8.8		3.7		10.0		9.2		10.0		9.2		1.3 3.8			
		経路の変化による競争の激化	6.9		7.4		2.4		1.4		4.6		6.7		6.6		7.7			
		里化の不足 コ注文・多頻度配送の増加	9.7		10.3		12.2		10.0		9.2		6.7		6.6		12.8			
		ロ <u>注文・多頻及能送の増加</u> 偏の縮小	25.0		26.5		30.5		28.6		35.4		36.7		23.7		30.8			
		面の軸小 及商品の陳腐化	1.4		5.9		2.4		7.1		9.2		3.3		2.6		3.8			
l		た商品の不足	9.7		4.4		2.4		0.0		7.7		11.7		6.6		5.1			
経営		た商品の不足 を納入先からの値下げ要請	4.2		1.5		6.1		1.4		1.5		3.3		7.9		3.8			
上の		入先からの値上げ要請 入先からの値上げ要請	15.3		19.1		9.8		11.4		9.2		1.7		5.3		6.4			
問題		牛費の増加	11.1		8.8		12.2		10.0		13.8		6.7		10.5		9.0			
点		+費以外の経費の増加	9.7		7.4		12.2		11.4		9.2		6.7		7.9		7.7			
~ %		引先の減少	13.9		19.1		19.5		21.4		13.8		26.7		21.1		26.9			
~		浦の狭小・老朽化	2.8		4.4		1.2		5.7		3.1		1.7		2.6		1.3			
		金回収の悪化	0.0		0.0		0.0		0.0		3.1		1.7		7.9		1.3			
		面の高騰	1.4		0.0		1.2		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0			
		車場の確保難	0.0		1.5		0.0		1.4		1.5		1.7		0.0		0.0			
		美の不順	5.6		0.0		2.4		7.1		9.2		3.3		1.3		5.1			
		易産業の衰退	4.2		1.5		3.7		4.3		4.6		3.3		1.3		2.6			
		替レートの変動	16.7		13.2		18.3		12.9		9.2		13.3		6.6		12.8			
		F企業・工場の縮小・撤退	4.2		2.9		6.1		2.9		7.7		3.3		7.9		9.0			
		D他	2.8		2.9		2.4		0.0		0.0		11.7		7.9		3.8			
		頃なし	6.9		5.9		1.2		1.4		3.1		1.7		1.3		2.6			
	販品	各を広げる	54.8		62.3		59.3		56.9		56.9		54.0		55.3		59.0			
	経勤	費を節減する	32.9		36.2		40.7		38.9		36.9		49.2		51.3		48.7			
	品拍	前えを充実する	15.1		17.4		16.3		19.4		20.0		17.5		15.8		10.3			
	情幸	服力を強化する	28.8		33.3		29.1		31.9		23.1		27.0		38.2		35.9			
	新し	い事業を始める	13.7		2.9		14.0		12.5		9.2		11.1		10.5		9.0			
_	提拉	隽先を見つける	5.5		11.6		7.0		5.6		4.6		3.2		9.2		6.4			
重点	機材	戒化を推進する	2.7		1.4		3.5		2.8		3.1		1.6		2.6		2.6			
経営	人村	すを確保する	27.4		20.3		30.2		23.6		24.6		19.0		15.8		19.2			
施策	パ-	-ト化を図る	1.4		0.0		1.2		4.2		3.1		1.6		0.0		1.3			
~ %	教育	育訓練を強化する	9.6		13.0		8.1		5.6		6.2		11.1		7.9		10.3			
<i>∞</i>	流道	通経路の見直しをする	6.8		8.7		4.7		6.9		6.2		7.9		2.6		2.6			
	取	引先を支援する	6.8		4.3		2.3		2.8		1.5		3.2		0.0		5.1			
	輸力	入品の取扱いを増やす	9.6		1.4		2.3		4.2		1.5		6.3		1.3		2.6			
	労俑	動条件を改善する	4.1		4.3		4.7		4.2		7.7		1.6		5.3		3.8			
	不重	助産の有効活用を図る	1.4		4.3		3.5		2.8		7.7		3.2		3.9		3.8			
	その	D他	8.2		0.0		2.3		1.4		1.5		0.0		5.3		1.3			
	特に	こなし	11.0		10.1		9.3		11.1		10.8		6.3		6.6		9.0			
有效	回答	等事業所数		73		76		87		73		77		63		80		79		

地域名:品川区 中分類:業種合計

項目	調査期	H3		H:		H31		F0		R 10~1		R		R			R2 9月期	対前期比	R2
坦日	良い	10~1 9.2	17.3	1~3 6.2	月期 4.6	4~6 15.1	月期 17.2	7~9 16.9	月朔 16.4	9.8	19.0	1~3 2.7	月 期 1.6	4~6 3.2	月期 2.8	8.3	4.8	削捌几	10~12月期
	普通	56.9	44.0	53.8	61.5	34.2	34.4	28.8	39.7	34.4	27.6	8.1	57.4	7.9	2.8	6.9	14.3		15.5
業	悪い	33.8	38.7	40.0	33.8	50.7	48.4	54.2	43.8	55.7	53.4	89.2	41.0	88.9	94.4	84.7	81.0		73.2
況	D•I	-24.6	-21.3	-33.8	-29.2	-35.6	-31.3	-37.3	-27.4	-45.9	-34.5	-86.5	-39.3	-85.7	-91.7	-76.4	-76.2		-62.0
	修正値	-30.5	-27.0	-38.2	-26.9	-33.0	-36.1	-29.8	-22.1	-49.6	-37.0	-85.3	-36.7	-84.2	-91.0	-73.7	-72.9	10.0	-64.6
	傾向値	-32.1	27.0	-32.6	20.0	-34.6	00.1	-33.9		-35.5	07.0	-44.7		-57.6	01.0	-68.7	72.0	10.0	0 1.0
	増加	23.1	28.9	10.8	12.3	24.7	17.2	13.8	16.4	16.4	25.4	8.1	6.6	9.5	0.0	41.7	12.7		30.6
	変らず	46.2	36.8	44.6	56.9	31.5	37.5	22.4	34.2	36.1	22.0	2.7	55.7	3.2	13.5	9.7	20.6		31.9
売	減少	30.8	34.2	44.6	30.8	43.8	45.3	63.8	49.3	47.5	52.5	89.2	37.7	87.3	86.5	48.6	66.7		37.5
上 額	D•I	-7.7	-5.3	-33.8	-18.5	-19.2	-28.1	-50.0	-32.9	-31.1	-27.1	-81.1	-31.1	-77.8	-86.5	-6.9	-54.0		-6.9
	修正值	-19.3	-18.1	-24.9	-10.3	-22.1	-34.3	-45.7	-22.8	-39.3	-34.7	-75.1	-24.3	-77.6	-86.0	-11.2	-47.1	66.0	-22.7
	傾向値	-24.6		-22.1		-22.4		-25.4		-30.6		-39.4		-52.7		-54.6			
	増加	16.9	18.4	6.2	7.7	17.8	18.8	10.2	13.7	13.1	16.9	0.0	3.3	7.9	0.0	33.3	11.1		27.8
	変らず	49.2	47.4	43.1	64.6	35.6	35.9	30.5	39.7	31.1	32.2	10.8	55.7	4.8	13.5	15.3	20.6		30.6
収	減少	33.8	34.2	50.8	27.7	46.6	45.3	59.3	46.6	55.7	50.8	89.2	41.0	87.3	86.5	51.4	68.3		41.7
益	D•I	-16.9	-15.8	-44.6	-20.0	-28.8	-26.6	-49.2	-32.9	-42.6	-33.9	-89.2	-37.7	-79.4	-86.5	-18.1	-57.1		-13.9
	修正值	-24.0	-28.4	-38.4	-11.4	-32.7	-31.4	-46.6	-27.0	-46.2	-40.0	-85.6	-31.3	-80.1	-85.8	-24.8	-53.6	55.0	-26.1
	傾向値	-33.2		-31.5		-32.9		-34.3		-38.1		-46.9		-58.8		-61.2			
	販売価格	-3.1	-1.3	-6.2	0.0	-2.7	4.7	0.0	-12.3	0.0	13.6	-21.6	-8.2	-19.0	-16.2	-2.8	-17.5		-9.7
/=	〃 修正値	-6.4	-1.0	-5.2	-2.5	-1.7	0.5	1.0	-6.1	-3.2	12.0	-18.5	-8.4	-16.5	-17.0	-3.5	-9.1	13.0	-12.3
価格動	" 傾向値	-2.1		-3.1		-3.2		-2.8		-2.6		-4.2		-8.1		-10.5			
向	仕入価格	32.3	31.6	44.6	27.7	43.8	43.8	33.9	34.2	24.6	45.8	2.7	16.4	3.2	-5.4	19.4	4.8		15.3
	〃 修正値	30.6	31.0	46.4	31.9	40.5	42.9	40.3	35.9	25.7	44.3	7.9	22.3	4.0	-1.0	23.7	9.3	20.0	12.9
	" 傾向値	35.6		35.8		37.9		38.5		37.7		31.5		21.2		14.3			
在庫	在庫数量	12.3	0.0	15.4	7.7	6.8	12.5	13.6	2.7	13.3	13.6	10.8	8.3	14.1	5.4	4.2	6.5		2.8
資	〃 修正値	14.1	-0.5	14.2	8.1	8.8	11.3	12.0	4.4	13.7	12.0	10.1	7.7	16.5	3.6	4.1	9.6	-12.0	2.9
金繰り	資金繰り	-10.8	-19.7	-21.5	-12.3	-26.0	-23.4	-23.7	-25.0	-31.1	-20.3	-66.7	-29.5	-46.0	-63.9	-28.2	-48.4		-33.8
É	# 修正值	-15.0	-20.1	-22.4	-13.8	-28.3	-26.0	-19.3	-24.0	-31.2	-18.5	-63.9	-29.2	-46.8	-61.7	-29.2	-47.1	18.0	-35.8
4	売上額	-9.7		-41.7		-39.0		-41.7		-48.5		-75.7		-71.2		-80.4			
同 期 比	収益	-33.3		-44.4		-63.4		-50.0		-72.7		-81.1		-72.9		-80.4			
	販売価格	-3.4		-11.1		-7.3		-5.6		18.2		-21.6		-18.6		-17.6			
雇用	残業時間	-9.7	5.6	-27.8	-22.6	-2.5	-28.6	-16.7	-2.5	-6.3	-2.8	-43.2	-29.0	-59.6	-29.7	-31.4	-40.4		-21.6
	人手	-54.8	-38.9	-38.9	-54.8	-58.5	-40.0	-30.6	-51.2	-53.1	-36.1	-18.9	-56.3	5.2	-24.3	11.8	-1.7		11.8
18	借入難易度	-9.7		-2.8		-12.5		-2.9		-19.4		-19.4		14.8		10.4			
金	借入をした(%)	35.5	23.5	25.0	17.9	30.0	16.7	24.2	17.9	38.7	14.7	25.7	17.2	57.9	36.1	64.0	29.5		23.8
_	借入をしない(%)	64.5	76.5	75.0	82.1	70.0	83.3	75.8	82.1	61.3	85.3	74.3	82.8	42.1	63.9	36.0			76.2
有効	回答事業所数		65		65		73		59		61		37		64		72		

小売業

地域名:品川区

中分類:業種合計

項目	調査期	H:	30 2月期	H: 1~3		H31 4~6		R 7∼9		R 10~1		R 1~3		R 4~6			R2 月期	対前期は	R2 10~12月期
块口	現在の設備	-16.7	-22.9	-25.0	-20.0	-17.1	-25.7	-8.6	−19.5	-9.7	-11.4	-8.6	-9.7	-15.8		-18.4	-15.8	削粉比	
	実施した	26.7	24.1	28.1	30.0	38.5	30.3		32.4	46.7	23.5	37.5	33.3	31.0	-5.7 25.8	23.9	20.8		-16.3 20.9
設供		13.3	3.4	6.3	6.7	7.7	6.1	31.4 2.9	8.8	10.0	23.5	6.3	7.4	6.9	3.2	4.3	5.7		20.9
備投	事業用地・建物																		
資動	機械・設備の新・増設	13.3	13.8	12.5	13.3	20.5	9.1	2.9	14.7	20.0	5.9	12.5	14.8	22.4	9.7	13.0	11.3		7.0
向	資 機械・設備の更改 内	10.0	10.3	12.5	23.3	17.9	15.2	20.0	14.7	20.0	11.8	18.8	14.8	10.3	12.9	15.2	15.1		14.0
%	容事務機器	6.7	6.9	6.3	6.7	7.7	3.0	11.4	5.9	16.7	2.9	21.9	11.1	12.1	12.9	4.3	1.9		7.0
~	車両	6.7	3.4	3.1	0.0	10.3	9.1	2.9	14.7	3.3	8.8	9.4	7.4	6.9	0.0	4.3	3.8		4.7
	その他 実施しない	0.0	0.0	0.0	0.0	2.6	0.0	0.0	2.9	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0	6.5	0.0	0.0		0.0
		73.3	75.9	71.9	70.0	61.5	69.7	68.6	67.6	53.3	76.5	62.5	66.7	69.0	74.2	76.1	79.2		79.1
	売上の停滞・減少	41.9		58.3		52.6		54.3		69.7		77.1		85.5		88.0			
	人手不足	41.9		33.3		47.4		42.9		45.5		28.6		16.4		12.0			
	同業者間の競争の激化	19.4		11.1		13.2		20.0		18.2		5.7		5.5		12.0			
	大型店との競争の激化	6.5		2.8		5.3		11.4		6.1		2.9		1.8		4.0			
	輸入製品との競争の激化	3.2		0.0		0.0		2.9		0.0		0.0		0.0		0.0			
	利幅の縮小	16.1		8.3		10.5		14.3		15.2		8.6		21.8		32.0			
Ĭ	取扱商品の陳腐化	3.2		2.8		2.6		8.6		6.1		5.7		1.8		2.0			
	販売商品の不足	0.0		2.8		0.0		0.0		0.0		2.9		0.0		2.0			
	販売納入先からの値下げ要請	0.0		2.8		5.3		2.9		0.0		0.0		0.0		0.0			
経	仕入先からの値上げ要請	9.7		13.9		13.2		17.1		15.2		0.0		5.5		2.0			
営上	人件費の増加	19.4		27.8		31.6		22.9		27.3		22.9		12.7		12.0			
の問	人件費以外の経費の増加	6.5		8.3		18.4		8.6		9.1		14.3		10.9		6.0			
題点	取引先の減少	6.5		19.4		15.8		11.4		15.2		11.4		9.1		10.0			
~	商圏人口の減少	0.0		2.8		2.6		2.9		0.0		2.9		5.5		18.0			
% _	商店街の集客力の低下	25.8		19.4		13.2		8.6		15.2		14.3		12.7		18.0			
	店舗の狭小・老朽化	16.1		16.7		7.9		11.4		3.0		2.9		0.0		4.0			
	代金回収の悪化	0.0		0.0		0.0		2.9		0.0		0.0		1.8		2.0			
	地価の高騰	0.0		2.8		2.6		2.9		3.0		2.9		0.0		2.0			
	駐車場の確保難	6.5		2.8		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0			
	天候の不順	25.8		11.1		7.9		20.0		21.2		17.1		14.5		10.0			
	地場産業の衰退	0.0		2.8		0.0		0.0		0.0		0.0		1.8		0.0			
	大手企業・工場の縮小・撤退	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		1.8		2.0			
	その他	6.5		2.8		7.9		0.0		0.0		34.3		18.2		8.0			
	問題なし	3.2		5.6		2.6		0.0		3.0		2.9		1.8		2.0			
	品揃えを改善する	16.1		31.4		22.0		27.8		25.0		14.7		25.5		28.6			
	経費を節減する	45.2		57.1		48.8		50.0		46.9		70.6		54.5		67.3			
	宣伝・広報を強化する	25.8		28.6		26.8		22.2		18.8		17.6		23.6		22.4			
	新しい事業を始める	9.7		5.7		9.8		13.9		9.4		2.9		16.4		20.4			
	店舗・設備を改装する	9.7		20.0		7.3		13.9		9.4		11.8		9.1		10.2			
重	仕入先を開拓・選別する	25.8		22.9		9.8		19.4		21.9		11.8		14.5		8.2			
点	営業時間を延長する	3.2		0.0		0.0		2.8		0.0		2.9		1.8		2.0			
経営	売れ筋商品を取扱う	12.9		14.3		24.4		30.6		12.5		17.6		21.8		24.5			
施策	商店街事業を活性化させる	6.5		5.7		2.4		13.9		12.5		8.8		3.6		6.1			
~	機械化を推進する	3.2		0.0		2.4		5.6		9.4		0.0		1.8		4.1			
% _	人材を確保する	38.7		31.4		41.5		36.1		34.4		20.6		7.3		12.2			
	パート化を図る	6.5		2.9		2.4		8.3		12.5		8.8		5.5		4.1			
	教育訓練を強化する	12.9		14.3		19.5		8.3		21.9		8.8		3.6		8.2			
Ĭ	輸入品の取扱いを増やす	0.0		0.0		0.0		0.0		3.1		0.0		0.0		0.0			
	不動産の有効活用を図る	6.5		8.6		2.4		2.8		9.4		5.9		9.1		2.0			
Ĭ	その他	0.0		0.0		2.4		2.8		0.0		0.0		7.3		0.0			
L	特になし	9.7		5.7		7.3		0.0		6.3		11.8		10.9		10.2			
有効	回答事業所数		65		65		73		59		61		37		64		72		

地域名:品川区 中分類:業種合計

項目	調査期	H: 10~1	30 2月期	H: 1∼3		H31-		R 7∼9	₹1 ○月期	R 10~1		R 1∼3	2 月期	R 4∼6	_		2 月期	対 前期比	R2 10~12月期
	良い	13.9	9.0	16.5	11.7	20.5	15.2	22.1	19.0	15.1	13.5	2.1	12.3	6.3	2.1	7.0	8.9		4.2
	普通	57.0	65.4	51.9	58.4	44.6	50.6	44.2	46.8	54.8	43.2	31.3	57.5	16.5	27.7	15.5	24.1		25.0
業	悪い	29.1	25.6	31.6	29.9	34.9	34.2	33.8	34.2	30.1	43.2	66.7	30.1	77.2	70.2	77.5	67.1		70.8
況	D•I	-15.2	-16.7	-15.2	-18.2	-14.5	-19.0	-11.7	-15.2	-15.1	-29.7	-64.6	-17.8	-70.9	-68.1	-70.4	-58.2		-66.7
	修正值	-19.2	-23.6	-20.4	-19.8	-8.4	-20.4	-10.3	-7.9	-17.6	-32.4	-63.9	-18.5	-66.8	-65.6	-68.3	-53.4	-1.0	-66.5
	傾向値	-12.4		-14.7		-15.7		-14.8		-14.1		-20.3		-33.5		-47.9			
	増加	28.2	18.2	14.1	16.7	28.9	19.2	10.4	24.7	19.2	20.0	4.3	11.3	8.9	8.5	20.8	21.8		14.1
	変らず	48.7	48.1	52.6	48.7	33.7	46.2	40.3	44.4	45.2	40.0	27.7	46.5	15.2	19.1	22.2	25.6		39.4
売上	減少	23.1	33.8	33.3	34.6	37.3	34.6	49.4	30.9	35.6	40.0	68.1	42.3	75.9	72.3	56.9	52.6		46.5
額	D•I	5.1	-15.6	-19.2	-17.9	-8.4	-15.4	-39.0	-6.2	-16.4	-20.0	-63.8	-31.0	-67.1	-63.8	-36.1	-30.8		-32.4
	修正値	0.2	-20.3	-18.5	-15.1	-3.4	-18.4	-37.8	-2.4	-20.1	-22.7	-60.9	-25.7	-64.4	-62.6	-34.2	-29.3	30.0	-35.1
	傾向値	-8.8		-8.7		-10.0		-12.6		-18.1		-26.3		-39.2		-46.2			
	増加	24.7	14.1	12.8	15.8	22.9	15.4	11.8	19.5	17.8	17.6	10.4	11.3	8.9	10.4	16.7	16.7		15.5
	変らず	48.1	47.4	53.8	46.1	37.3	48.7	42.1	48.8	47.9	41.9	25.0	54.9	13.9	16.7	22.2	26.9		36.6
収益	減少	27.3	38.5	33.3	38.2	39.8	35.9	46.1	31.7	34.2	40.5	64.6	33.8	77.2	72.9	61.1	56.4		47.9
_	D•I	-2.6	-24.4	-20.5	-22.4	-16.9	-20.5	-34.2	-12.2	-16.4	-23.0	-54.2	-22.5	-68.4	-62.5	-44.4	-39.7		-32.4
	修正值	-5.7	-28.2	-23.3	-19.6	-11.2	-20.9	-33.8	-12.2	-18.8	-25.2	-53.0	-19.3	-64.2	-60.0	-43.2	-39.7	21.0	-34.5
	傾向値	-13.5		-13.9		-15.3		-16.8		-20.3		-26.2		-36.9		-44.6			
	料金価格	0.0	-3.9	2.6	1.3	0.0	5.2	-2.6	-1.2	-5.5	4.0	-16.7	-6.9	-22.7	-25.0	-16.9	-21.3		-20.0
価	〃 修正値	-1.7	-4.2	1.6	0.3	1.4	3.1	-2.3	0.0	-5.6	3.6	-15.8	-5.0	-20.8	-23.5	-15.3	-20.0	6.0	-19.9
格	〃 傾向値	-0.1		-0.6		-0.6		-0.3		-0.7		-3.8		-9.0		-13.6			
動向	材料価格	28.6	22.2	30.3	34.2	30.1	38.2	26.0	28.0	16.4	32.0	19.6	16.7	9.5	10.9	0.0	2.7		0.0
	〃 修正値	28.6	26.3	32.0	34.0	28.1	36.9	27.8	27.2	18.1	33.5	20.7	17.8	10.6	11.9	2.9	5.1	-8.0	2.0
	〃 傾向値	26.8		27.6		28.1		28.4		27.2		24.4		20.4		14.6			
在庫	資金繰り	-9.0	-12.8	-15.2	-13.0	-12.0	-15.2	-13.0	-15.9	-5.5	-20.0	-35.4	-6.9	-50.6	-41.7	-33.8	-41.8		-38.6
資	〃 修正値	-12.5	-16.5	-15.1	-15.7	-10.1	-14.4	-12.5	-12.6	-8.0	-21.1	-33.6	-8.5	-47.4	-39.0	-33.6	-37.7	14.0	-38.2
金繰																			
Ŋ																			
4	売上額	-5.6		-3.7		-1.5		-16.7		-28.6		-56.5		-62.5		-53.3			
201	収益	-1.8		-10.9		-10.1		-20.0		-32.1		-63.8		-68.1		-56.7			
比																			
雇用	残業時間	-10.9	1.5	-10.7	-7.4	-4.3	-7.3	-8.3	-11.8	-17.9	-13.3	-35.4	-16.4	-57.5	-41.7	-26.7	-38.4		-22.0
Ľ.	人手	-50.0	-52.4	-50.0	-45.3	-46.4	-48.1	-52.5	-46.4	-48.2	-50.0	-37.5	-52.7	-9.7	-25.0	-16.4	-15.3		-21.7
IH	借入難易度	5.7		0.0		-5.9		-3.4		1.9		-8.7		1.4		-9.8			
入 金	借入をした(%)	22.2	11.9	24.6	3.8	19.7	16.1	22.0	20.6	20.0	7.1	26.1	9.3	40.6	20.9	32.3	23.9		16.9
<u> </u>	借入をしない(%)	77.8	88.1	75.4	96.2	80.3	83.9	78.0	79.4	80.0	92.9	73.9	90.7	59.4	79.1	67.7	76.1		83.1
有効	回答事業所数		79		79		83		77		74		48		79		72		

中分類:業種合計

7 . F.		調査期	H3		Н:		H31		R		R			2 #		2 #		2 #	対	R2
項目		生の設備	10~1		1~3		4~6		7~9			2月期	1~3		4~6 -4.3		7~9		削期几	10~12月期
	実施	をした	-14.5 33.3	-4.8 29.0	-12.3 28.6	-14.5 24.5	-14.5 37.3	-10.7 27.3	-11.5 41.7	-8.7 32.3	-14.5 46.3	-11.5 26.4	-6.3 37.0	-22.2 35.8	31.0	23.3	-5.2 25.0	-4.3 20.9		-5.3 17.5
設備		事業用地・建物	0.0	0.0	0.0	5.7	3.0	3.6	5.0	1.6	1.9	3.8	0.0	1.9	2.8	2.3	3.3	6.0		1.8
投		機械・設備の新・増設	3.7	6.5	5.4	3.8	13.4	7.3	10.0	11.3	22.2	5.7	15.2	13.2	11.3	7.0	13.3	6.0		7.0
資動	投資	機械・設備の更改	11.1	12.9	10.7	13.2	9.0	10.9	16.7	16.1	14.8	13.2	13.0	9.4	8.5	7.0	8.3	7.5		5.3
向(内	事務機器	9.3	8.1	8.9	7.5	16.4	10.9	16.7	9.7	14.8	3.8	8.7	11.3	9.9	7.0	8.3	6.0		5.3
% _	4	車両	16.7	8.1	10.7	9.4	14.9	10.9	21.7	14.5	18.5	5.7	19.6	15.1	9.9	9.3	10.0	10.4		10.5
		その他	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5	0.0	3.3	1.6	1.9	0.0	2.2	1.9	1.4	2.3	0.0	0.0		0.0
	実別	布しない	66.7	71.0	71.4	75.5	62.7	72.7	58.3	67.7	53.7	73.6	63.0	64.2	69.0	76.7	75.0	79.1		82.5
	売」	上の停滞・減少	38.2		56.4		37.5		43.3		40.7		60.4		65.7		67.2			
	人=	手不足	34.5		49.1		46.9		50.0		51.9		47.9		22.9		31.1			
	同業	業者間の競争の激化	27.3		18.2		17.2		16.7		22.2		10.4		15.7		14.8			
	大手	手企業との競争の激化	3.6		1.8		3.1		5.0		1.9		4.2		2.9		1.6			
	合理	里化の不足	5.5		5.5		6.3		3.3		5.6		2.1		8.6		4.9			
	利帅	冨の縮小	25.5		20.0		20.3		16.7		14.8		22.9		20.0		19.7			
	取技	及事務の陳腐化	1.8		0.0		0.0		1.7		0.0		0.0		1.4		1.6			
	材料	料価格の上昇	9.1		12.7		15.6		15.0		7.4		8.3		1.4		1.6			
	料金	金の値下げ要請	1.8		0.0		3.1		3.3		5.6		6.3		2.9		3.3			
経	人作	牛費の増加	30.9		29.1		25.0		25.0		35.2		27.1		20.0		19.7			
営上	人作	牛費以外の経費の増加	7.3		9.1		6.3		15.0		7.4		10.4		7.1		3.3			
の問	技術	有力の不足	9.1		10.9		12.5		10.0		11.1		10.4		10.0		4.9			
題点	取	引先の減少	12.7		12.7		10.9		5.0		5.6		10.4		7.1		13.1			
~	商图	圏人口の減少	1.8		3.6		1.6		3.3		1.9		0.0		0.0		0.0			
% _		画の高騰	0.0		3.6		3.1		0.0		1.9		0.0		0.0		0.0			
	駐車	車場の確保難	3.6		3.6		1.6		5.0		3.7		2.1		2.9		1.6			
		浦・設備の狭小・老朽化	0.0		5.5		1.6		6.7		3.7		4.2		7.1		3.3			
		金回収の悪化	1.8		1.8		1.6		1.7		1.9		2.1		0.0		1.6			
		美の不順	3.6		3.6		3.1		8.3		9.3		4.2		8.6		0.0			
		易産業の衰退	1.8		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0			
	大手	F企業・工場の縮小・撤退	5.5		0.0		1.6		5.0		0.0		0.0		0.0		3.3			
	20	D他	1.8		1.8		3.1		3.3		1.9		8.3		11.4		6.6			
		頃なし	5.5		5.5		6.3		3.3		7.4		4.2		1.4		1.6			
		各を広げる	46.3		43.9		41.8		36.1		39.3		42.6		37.0		44.1			
		費を節減する	38.9		47.4		40.3		42.6		48.2		44.7		49.3		55.9			
		云・広告を強化する	7.4		10.5		17.9		13.1		12.5		14.9		12.3		8.5			
		い事業を始める	13.0		15.8		11.9		9.8		14.3		14.9		12.3		20.3			
	店舗	浦・設備を改装する	0.0		3.5		1.5		4.9		0.0		2.1		4.1		1.7			
-	提拉	隽先を見つける	11.1		7.0		4.5		9.8		3.6		6.4		6.8		5.1			
重点	技術	析力を強化する	22.2		21.1		26.9		18.0		21.4		21.3		17.8		15.3			
経営	機材	戒化を促進する	5.6		3.5		1.5		1.6		1.8		0.0		4.1		1.7			
施策	人村	オを確保する	51.9		47.4		46.3		45.9		55.4		48.9		35.6		32.2			
~ %	パー	-ト化を図る	1.9		1.8		3.0		3.3		1.8		4.3		2.7		0.0			
\(\tilde{\chi}	教育	育訓練を強化する	9.3		15.8		11.9		11.5		16.1		14.9		13.7		13.6			
	労債	動条件を改善する	7.4		14.0		7.5		14.8		14.3		6.4		9.6		13.6		-	
	不重	動産の有効活用を図る	5.6		3.5		1.5		3.3		1.8		0.0		4.1		3.4			
		D他	0.0		0.0		0.0		3.3		1.8		2.1		9.6		1.7			
		こなし	9.3		8.8		4.5		8.2		5.4		6.4		2.7		3.4			
有効	回答	下事業所数		79		79		83		77		74		48		79		72		

中分類:業種合計

項目	調査		H30 12月期		31 月期	H31 4∼6		F 7∼9			t1 2月期	F 1~3	2 月期		2 月期		2 月期	対 前期比	R2 10~12月期
	良い	16.	20.0	21.4	18.6	17.8	17.4	20.8	14.9	21.1	21.3	18.5	14.5	2.2	6.3	2.5	3.2		12.7
	普通	45.	54.7	42.9	44.3	37.8	43.5	41.6	40.2	49.3	33.3	36.9	49.3	22.6	29.7	26.6	17.2		27.8
業	悪い	38.	25.3	35.7	37.1	44.4	39.1	37.7	44.8	29.6	45.3	44.6	36.2	75.3	64.1	70.9	79.6		59.5
況	D·I	-21.	-5.3	-14.3	-18.6	-26.7	-21.7	-16.9	-29.9	-8.5	-24.0	-26.2	-21.7	-73.1	-57.8	-68.4	-76.3		-46.8
	修正值	-28.8	-9.8	-24.0	-26.3	-10.4	-7.2	-10.8	-27.7	-17.3	-28.0	-32.2	-28.8	-64.9	-48.3	-63.2	-73.5	2.0	-49.0
	傾向値	-12.	3	-18.8		-21.7		-20.7		-18.2		-18.1		-25.3		-37.6			
	増加	26.	32.5	28.6	23.9	18.9	8.6	20.8	20.2	23.9	28.9	21.5	25.7	7.5	9.4	13.9	14.0		29.1
	変らず	35.	45.5	41.4	39.4	28.9	37.1	39.0	37.1	39.4	32.9	26.2	40.0	15.1	21.9	22.8	17.2		16.5
売上	減少	38.	22.1	30.0	36.6	52.2	54.3	40.3	42.7	36.6	38.2	52.3	34.3	77.4	68.8	63.3	68.8		54.4
ψX	D·I	-11.3	10.4	-1.4	-12.7	-33.3	-45.7	-19.5	-22.5	-12.7	-9.2	-30.8	-8.6	-69.9	-59.4	-49.4	-54.8		-25.3
	修正値	-21.4	-2.0	-11.1	-14.7	-10.8	-26.0	-18.5	-27.9	-22.3	-21.0	-36.9	-12.4	-57.0	-42.4	-45.9	-54.9	11.0	-35.7
	傾向値	-17.	1	-19.3		-19.1		-17.4		-16.6		-20.4		-28.6		-36.9			
	増加	14.	22.1	15.7	14.3	13.3	11.4	11.7	20.2	25.4	25.3	14.1	17.4	4.3	6.3	6.3	14.3		26.6
	変らず	55.	53.2	44.3	57.1	45.6	44.3	50.6	41.6	32.4	36.0	43.8	37.7	22.8	33.3	35.4	23.1		24.1
受注	減少	30.	24.7	40.0	28.6	41.1	44.3	37.7	38.2	42.3	38.7	42.2	44.9	72.8	60.3	58.2	62.6		49.4
7.45	D·I	-15.	-2.6	-24.3	-14.3	-27.8	-32.9	-26.0	-18.0	-16.9	-13.3	-28.1	-27.5	-68.5	-54.0	-51.9	-48.4		-22.8
	修正值	-25.7	-10.5	-21.4	-18.4	-17.2	-13.2	-26.1	-22.9	-27.2	-21.1	-25.9	-30.5	-60.3	-39.3	-48.8	-49.2	12.0	-30.4
	傾向値	-19.	3	-23.1		-24.2		-23.8		-23.6		-24.2		-29.8		-38.1			
	増加	28.	28.6	24.3	22.5	16.7	8.6	22.1	24.7	25.7	28.9	26.6	24.6	5.4	9.5	11.8	14.3		28.9
١	変らず	35.	45.5	50.0	39.4	32.2	41.4	29.9	33.7	35.7	27.6	26.6	31.9	14.1	25.4	25.0	17.6		18.4
施工	減少	36.	26.0	25.7	38.0	51.1	50.0	48.1	41.6	38.6	43.4	46.9	43.5	80.4	65.1	63.2	68.1		52.6
高	D·I	-8.	2.6	-1.4	-15.5	-34.4	-41.4	-26.0	-16.9	-12.9	-14.5	-20.3	-18.8	-75.0	-55.6	-51.3	-53.8		-23.7
	修正值	-20.3	-7.8	-10.7	-20.4	-7.3	-18.8	-25.7	-21.1	-23.2	-24.3	-28.2	-24.2	-63.0	-37.7	-47.3	-53.5	16.0	-33.0
	傾向値	-15.	7	-17.3		-17.5		-17.6		-18.1		-21.0		-28.5		-36.7			
	増加	28.	27.3	20.0	19.7	12.2	8.6	16.9	14.6	19.7	22.4	18.5	14.3	6.5	6.3	7.6	14.0		20.3
	変らず	29.	41.6	37.1	40.8	34.4	45.7	35.1	37.1	46.5	38.2	29.2	45.7	17.2	26.6	30.4	14.0		27.8
収益	減少	42.	31.2	42.9	39.4	53.3	45.7	48.1	48.3	33.8	39.5	52.3	40.0	76.3	67.2	62.0	72.0		51.9
100	D·I	-14.	-3.9	-22.9	-19.7	-41.1	-37.1	-31.2	-33.7	-14.1	-17.1	-33.8	-25.7	-69.9	-60.9	-54.4	-58.1		-31.6
	修正值	-23.7	-14.4	-28.5	-25.6	-23.7	-14.7	-30.8	-35.8	-24.8	-26.3	-36.9	-30.8	-58.8	-46.1	-50.8	-56.9	8.0	-40.2
	傾向値	-23.	,	-26.5		-29.0		-28.4		-27.3		-28.7		-33.7		-40.2			
				-															
	請負価格	-4.:	-5.2	-10.1	-7.0	-18.9	-22.9	-18.2	-16.9	-21.1	-18.4	-24.6	-20.0	-49.5	-39.1	-41.8	-44.1		-27.8
価	〃 修正値	-10.2	-9.1	-15.1	-11.1	-10.2	-15.7	-15.8	-15.1	-24.6	-20.9	-27.6	-24.2	-41.3	-32.6	-37.9	-41.0	3.0	-29.7
	〃 傾向値	-12.	1	-13.2		-14.4		-13.7		-15.0		-18.9		-24.5		-31.3			
向	材料価格	34.	32.9	40.3	43.5	44.8	41.8	48.6	41.9	45.6	52.8	37.7	38.8	19.1	35.0	18.7	21.6		16.0
	〃 修正値	38.2	33.7		43.9	45.8	43.4	46.5	44.3	46.9	51.0	38.6	38.6	23.0	35.9		26.2	-4.0	16.2
在	〃 傾向値	33.	2	35.4		38.4		41.2		43.5		44.5		41.0		34.0			
庫	原材料在庫数量	12.	8.0	-1.5	7.6	-3.5	3.1	-1.4	-6.0	1.5	-5.6	-4.9	-1.5	1.1	-8.3	9.5	-2.3		6.8
<u></u>	# 修正	12.0	5.9	-1.2	7.0	-1.9	1.4	-2.0	-3.0	1.3	-4.9	-3.1	-1.9	2.9	-8.3	7.1	0.4	4.0	5.2
繰	資金繰り	-20.			-15.7	-10.1	-27.5	-6.5		-16.9	-12.0	-27.7	-21.4	-37.6	-35.9	-25.6	-41.3		-30.8
り前	〃 修正値	-20.7		-16.2	-14.4		-26.3		-21.4		-14.8		-20.0		-31.5	-27.6	-39.9	8.0	-34.3
年同	売上額	-28.		-29.2		-20.5		-14.3		-21.7		-18.5		-69.9		-71.8			
期	収益	-31.	1	-40.0		-30.3		-27.6		-26.1		-27.7		-69.9		-70.5			
比		-																	
雇用	残業時間	-2.			5.6	-27.3		-22.1	-10.2	-24.6	-13.2	-23.8	-17.6	-59.3	-39.7		-47.8		-23.4
	人手	-56.			-54.9	-41.6	-43.1	-52.6	-48.3	-53.6	-50.0	-50.8	-48.5	2.2	-31.7		-5.5		-30.8
	借入難易度	8.		0.0		-1.2		6.6		-2.9		-13.3		2.3		2.9			
	借入をした(%)	26.			18.2	29.9	31.7	26.0	15.7	32.8	18.9	31.1	25.4	33.7	20.3	37.7	35.3		18.3
	借入をしない(%) 73.:			81.8	70.1	68.3	74.0	84.3	67.2	81.1	68.9	74.6	66.3	79.7	62.3	64.7		81.7
有効	回答事業所数		71		70	<u> </u>	90	<u> </u>	77		71	<u> </u>	65	<u> </u>	93	<u> </u>	79		

中分類:業種合計 注:各項目の右側は、前期調査における予想(計画)値です。

		I																		
ᅲ		調査期		30	H:		H31		R		R			2 #0		2 月期		2 月期	対	R2
項目		Eの設備		2月期	1~3		4~6		7~9		10~1		1~3						削期比	10~12月期
		もした	-6.1	-8.3	-19.0 32.2	-7.6	-10.3	-9.5	-17.1	-12.8	-1.5	-16.0	-6.3 35.2	-1.6	-6.7 32.9	-1.6	-3.9	-9.0		-1.3
設備		事業用地・建物	38.8 4.5	20.6	6.8	32.8	35.8 2.5	32.8 4.9	31.5 1.4	32.5 2.4	28.1 4.7	31.5 6.8	1.9	28.1 6.3	3.5	32.1 1.9	31.1 4.1	3.6		26.0 4.1
投		機械・設備の新・増設	11.9	1.5	1.7	9.4	6.2	3.3	8.2	2.4	4.7	8.2	5.6	4.7	10.6	3.8	8.1	7.2		8.2
資動	投資	機械・設備の更改	3.0	2.9	5.1	6.3	6.2	4.9	5.5	6.0	7.8	4.1	9.3	4.7	3.5	3.8	6.8	4.8		5.5
向	内容	事務機器	20.9	10.3	20.3	9.4	13.6	13.1	12.3	14.5	17.2	8.2	24.1	17.2	18.8	18.9	13.5	10.8		15.1
% _	台	車両	20.9	14.7	11.9	20.3	19.8	19.7	27.4	19.3	12.5	23.3	18.5	12.5	16.5	15.1	20.3	8.4		12.3
		その他	0.0	0.0	1.7	0.0	1.2	0.0	0.0	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	2.4	0.0	1.4	0.0		0.0
	実施	面しない	61.2	79.4	67.8	67.2	64.2	67.2	68.5	67.5	71.9	68.5	64.8	71.9	67.1	67.9	68.9	77.1		74.0
	売」	上の停滞・減少	37.7		40.3		43.7		33.8		40.9		45.9		67.0		57.7			
	人目	F 不足	53.6		61.3		46.0		43.2		50.0		39.3		31.9		30.8			
	大手	F企業との競争の激化	4.3		1.6		1.1		6.8		4.5		6.6		3.3		3.8			
	同業	業者間の競争の激化	15.9		12.9		16.1		17.6		13.6		9.8		17.6		17.9			
	親ゴ	と業による選別の強化	4.3		3.2		4.6		4.1		3.0		0.0		0.0		5.1			
	合理	里化の不足	1.4		1.6		3.4		2.7		3.0		3.3		4.4		2.6			
	利帕	晶の縮小	17.4		25.8		24.1		29.7		30.3		26.2		33.0		29.5			
	材米	斗価格の上昇	15.9		27.4		17.2		14.9		15.2		13.1		7.7		10.3			
	下部	青の確保難	26.1		21.0		29.9		29.7		30.3		31.1		19.8		21.8			
経	駐耳	🛚 場・資材置場の確保難	4.3		1.6		4.6		5.4		4.5		1.6		5.5		5.1			
営上	人化	‡費の増加	24.6		17.7		20.7		14.9		18.2		23.0		13.2		11.5			
の問	人化	‡費以外の経費の増加	11.6		8.1		5.7		9.5		9.1		13.1		9.9		6.4			
題点	技術	前力の不足	11.6		12.9		10.3		12.2		9.1		4.9		8.8		12.8			
~	代金	全回収の悪化	0.0		1.6		2.3		1.4		0.0		0.0		1.1		0.0			
% _		く	4.3		3.2		3.4		4.1		6.1		0.0		2.2		7.7			
		易産業の衰退	0.0		0.0		4.6		2.7		0.0		3.3		0.0		1.3			
	大手	全企業・工場の縮小・撤退	5.8		0.0		0.0		2.7		1.5		1.6		1.1		2.6			
	その)他	0.0		0.0		1.1		0.0		3.0		9.8		3.3		5.1			
		直なし	2.9		3.2		3.4		6.8		3.0		6.6		6.6		6.4			
		各を広げる	36.2		33.3		31.0		36.5		35.8		32.8		28.9		29.5			
		きを節減する	33.3		25.4		34.5		31.1		37.3		37.5		37.8		48.7			
		最力を強化する	30.4		23.8		20.7		18.9		19.4		17.2		27.8		29.5			
	新し	い工法を導入する	2.9		1.6		6.9		4.1		9.0		4.7		4.4		6.4			
	新し	い事業を始める	1.4		7.9		4.6		5.4		4.5		1.6		11.1		3.8			
重	技術	所力を高める	29.0		31.7		32.2		36.5		32.8		25.0		35.6		38.5			
点	人木	すを確保する	52.2		58.7		52.9		54.1		41.8		48.4		38.9		43.6			
経営	パ-	-ト化を図る	2.9		0.0		2.3		4.1		0.0		1.6		0.0		1.3			
施策	教育	育訓練を強化する	13.0		11.1		10.3		13.5		17.9		14.1		15.6		11.5			
~ %		効条件を改善する	11.6		14.3		16.1		17.6		13.4		17.2		13.3		12.8			
~	不重	加産の有効活用を図る	4.3		4.8		1.1		4.1		3.0		1.6		2.2		2.6			
	-																			
	-																			
	-																			
	_																			
	その		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		3.1		0.0		0.0			
± ÷		ま業売数	7.2	74	4.8	70	8.0	00	9.5	77	6.0	74	15.6	er.	8.9	00	10.3	70	l	
有効	凹答	事業所数		71		70		90		77		71		65		93		79	l	

調査の概要

- 1. 調 査 時 期 令和2年7月~9月期
- 2.調査方法 郵送アンケート調査
- 3. 調査の対象と回収状況

					調査対象事業所数	有効回答事業所数
製		造		業	102	77
卸		売		業	102	79
小		売		業	102	72
サ	J	ビ	ス	業	102	72
建		設		業	102	79
合				計	510	379